

農業所得の企業的分析

桜井守正

はしがき

さきに桜井稿「農業經營における農家の所得追求」（『農業総合研究』一六の二）において、農業所得の増大と當農態度との関連を考察してみたのであるが、さらに検討事例数を増してより計数的に前稿の考察を拡げてみようと思つた。検討事例は昭和三三年度および三五年度『農業經營調査』（農林省統計調査部）所載のものである。

農業經營も企業的に運営されていると想定してみると、現実の經營成果である農業所得は如何なる企業的運営の結果であるかを分析的に考察し、農業所得増大のためにはどう運営したらよいかを模索してみたのが本稿である。

一 農業所得と分析的經營純収益

（一）農業所得

農家の農業經營における農業所得は、所得源要素である自作地・家族労働力・自己資本の利用に対する総合的報酬を意味する。これを、經營三要素〔土地・労働力・資本〕の利用の総合的報酬である純生産額（粗収益から流動物

所得の方から接近して分析的に考察してみようとするとき、農業所得と相似的な分析的純収益を求めてみると意義であろう。このためには、前掲の(2)式と(4)式とが相似であるような条件は何かということを吟味して、そのような条件を想定しながら、分析的に考察してみる必要がある。

(1) まず、農業所得(1)式と分析的純収益(3)式との対比においては、前者における外給分要素用役の費用額と後者における費用要素用役の費用額との項が異なるだけで、他は同じである。はじめに、それらの用役評価が同一水準のもとでなされているかどうかという問題がある。もし、同一水準のもとでなされているとすれば、それらの費用額は大きさのちがいだけのものである。このために、 $\frac{1}{k}$ が、両式に共通になっているが、果して共通な値をとり得るようなものとして考えられるかどうかも、あわせて吟味されなければならない。

農業経営における生産活動の過程にあっては、同じ要素であれば自給分と外給分とでその用役に質的な区別はないであろう。例えば、借入資本についてはその利子以上のはたらきをさせなければならぬが、自己資本にはその必要がないと故意に考える必要はないであろう。そもそも資本要素については、それが自給であれ外給であれ、ある利子率のもとでの利子以上の資本収益をあげるように運営すべきであろうし、また、自給分に見合うアウトプットと外給分のそれを区別することは出来ないであろう。家族労働力と雇傭労働力間、自作地と借入地間についても同様である。もつとも、同一要素でも自給分と外給分とで質的差異がみられることがあるが、それが量的に評価され量的な差異として表現出来れば、以上のこととは貫かれるであろう。

農業経営の運営で経営要素の自給分と外給分との用役に質的な区別を認めないと云ふことは、農業経営も一般的、企業的に運営されるということである。ここで、さきに述べた、三要素の総合的大きさに対する三要素用役の大

きさの比率が果して共通の値となるかどうかを考えてみよう。純粹に資本利用の農企業として行なわれるという条件のもとで考えてみると、それぞれの要素単位量の用役評価はおそらく同じ水準のもとでなされるであろうし、それにもとづいて各要素単位量の評価が導かれてくるであろう。つまり、要素の大きさに対する要素用役の大きさの比率が、利子率のようなものとして、要素間で共通の値をとるであろう。農業経営も純粹に資本利用の農企業として運営されているという条件のもとでは、 k はきまつた値をとるであろう。

そういう条件を想定してみると、(1)式と(3)式における、それぞれ外給分要素用役の費用額と費用要素用役の費用額は、その大きさが一般には異なるというだけのものである、ということになる。したがって、経営運営における外給分要素の認識と費用要素のそれとの関連の如何によつては、それらの大きさにあまり差のないこともあります。

(口) つぎに、(2)式と(4)式と(4)式とを対比してみると、ここで(2)式における、純生産額から外給分要素用役の費用額を差引いたものを所得源要素の大きさで割った比率を所得率（所得歩留り率ではない）といい、(4)式における、純生産額から費用要素用役の費用額を差引いたものを収益源要素の大きさで割った比率を収益率といつておこう。個別的、特殊的の経営条件のもとでの所得源としての要素認識は、一般的、企業的経営条件のもとでの収益源としての要素認識とは本質的に異なるが、前者も農企業的経営条件のもとで考えるとすれば、量的なちがいだけになる。そして、所得率の大きさと収益率の大きさがうそすれば、個別経営に所得源要素として何と何とがそれぞれどの位あるのかということと、収益源要素として何をどの位想定するのかということとの食いちがいによるものである。同じようなことが、(2)式における $\frac{1}{P}$ と(4)式における $\frac{1}{Q}$ との比較においてもみられる。 P は、農企業的経営条件のもとでは算出可能な、経営要素全量における所得源要素量のウエイトであるし、 Q は同じく収益源要素量

のウエイトであるから、所得要素量のウエイトをどの位にしているかということと、収益要素をどの位の量的ウエイトのものとして想定しているかということのちがいによって、 $\frac{1}{P}$ と $\frac{1}{Q}$ とのちがいもみられてくる。

結局、農業経営も一般的、企業的に運営されているという前提のもとで、所得要素として何と何とがそれぞれどの位あるかということに対して、収益要素として何をどの位想定するかということの相似がみられれば、その分析的純収益は農業所得に相似的なものになる。

(iv) さらに、分析的純収益における純生産額と収益率との積が、農業所得に比例的な大きさを示すような条件について考えてみたい。というのは、 $\frac{1}{k}$ もそうであるが、 $\frac{1}{P}$ も $\frac{1}{Q}$ も思考過程のなかで導入した概念であつて、計算可能とは言つても実際には難かしいことであるから、分析的純収益と農業所得との対比を、純生産額と収益率との積と、農業所得との対比に置き換えてみたいからである。

いままで吟味して来たように、農企業的経営条件のもとで考えてみると、収益要素として何をどの位想定してみるかということによって、すなわち、どのように経営純収益の内容を分析的に想定してみるかということによつて、純生産額と収益率との積が農業所得に近似的には比例する大きさを示す場合もあり得るであろう。そのような場合には、収益率も近似的には農業所得に比例する大きさになるであろう。

また、逆に、農業所得に比例的な大きさを示すような、収益率または純生産額と収益率との積を得ることが出来るとすれば、そのような分析的純収益は農業所得と相似的であるということになり、そのような、収益要素の分析的想定は、所得要素の企業的利用に通ずることになる。

二 農企業タイプ別純収益の想定

(一) 農企業タイプ別純収益

現実には、殆んど自作地・家族労働力・自己資本で運営する農業経営が大部分である。そのような經營群における所得と分析的純収益との関連を検討してみたいのであるから、分析的指標であると同時に、適当に総合的指標であることが望まれる。それゆえ、ここでは二要素の組合せを収益源と考え、残りの一要素を費用要素と考えることにして、三種の組合せを想定してみた。収益源として单一要素に限定してそれぞれ土地純収益・労働力純収益・および資本純収益と所得との関連を分析的に検討するよりも、それぞれ資本および労働力利用純収益・資本および土地利用純収益・土地および労働力利用純収益と所得との関連を分析的に検討することの方が総合的でありより、現実的である。つまり、三つのタイプの純収益追求を想定してみたのである。

三つのタイプの純収益は、農業經營も一般的、企業的に運営されているという前提条件のもとで考えられているから、農企業タイプ別純収益ということになる。そしてこれは、個別的、特殊的經營条件のもとで実現される所得とは異なるものである。しかし、あるタイプの農企業的純収益が大きい經營ほど所得が多くなっているという関係があるとすれば、多くの經營ではそれらの要素利用報酬の増大を追求しながら農企業的に運営して、所得を多くしている、と理解してもよいであろう。前掲の(4)式は、農企業的純収益を一般的な形で示しているわけであるが、前に吟味した如く、所得追求態様と農企業タイプとが相似的であれば、純生産額と収益率との積は所得に比例する大きさを示すということになる。それゆえ、純生産額と収益率との積が大きい經營ほど所得が多くなるという関係が

あれば、あるタイプの農企業的純収益が大きい経営ほど所得が多くなるという関係として理解することが出来る。純生産額と収益率との積は、農企業的純収益そのものではないが、以下の考察においては農企業的純収益の多少と所得の多少との関連を見るのであるから、ここでは、その積を簡単に農企業的純収益と呼んでおくことにする。

(二) 農企業タイプ別収益率指標

農企業タイプ別純収益の想定は、もともと農企業タイプ別収益率の想定にはじまっている。収益源要素として何を想定してみるかとすることが、収益率において問題になるからである。前掲の(4)式で抽象的、一般的に示した収益率を、ここでは実際に計算が出来るように具体的なものとして示さなければならない。

農企業タイプ別収益率指標について、次のように考えてみることにする。

(1) まず、資本および労働力を収益源とし、土地を費用要素として認識するタイプである。資本利用の農企業として把握するのであるから、収益源要素の大きさは物財および労働を調達するために要する資本額としてとらえられ、費用要素用役の費用額としては地代が差引かれるということになる。

$$\text{農企業的収益率(I)} = \frac{\text{純生産額} - \text{地代}}{\text{物財および労働調達資本}}$$

ここで、物財は固定財と流動財とに分けられ、固定財調達資本は固定資本額をそのままとり、流動財調達資本は流動物財費の半額（年二回回転するものとして）をとっている。また、労働調達資本はやはり年二回回転するものとして労働費（家族労働も含む）の半額をとっている。『農業経営調査報告（農林省統計調査部）』（以下「報告」と略記する）の事例を利用して検討しようとするので、その約束にしたがっている。

農企業的運営についてのこのようないタイプは、借地農的または地代節約的農企業經營にみられるようなものである。現実の農家では自作地利用が大部分であるから、地代分は所得の一部になるのであるが、このようなタイプでは、それは費用負担として考えられてその分の所得があればよいというわけで、もっぱらそのもとで資本および労働力利用純収益の多きを追求しようということなのである。これを企業化Ⅰのタイプと言つておこう。

(ロ) 第二は、資本および土地を収益源要素とし、労働力を費用要素として認識するタイプである。収益源要素の大ささとしては、物財および土地の調達に要する資本額が計上され、土地調達資本としては耕地・農用宅地・採草放牧場の土地評価額をとっている。費用負担としては労働費（もちろん家族労働を含む）が差引かれる。労働費は『報告』に計上されているものである。

$$\text{農企業的収益率(II)} = \frac{\text{純生産額} - \text{労働費}}{\text{物財および土地調達資本}}$$

農企業的運営のこのようないタイプは、雇傭労働依存的あるいは労働節約的農企業經營にみられるようなものである。現実には家族労働利用が大部分であるから、家族労働費は所得の一部になるのであるが、このタイプでは、それも費用負担として考えられてその分の所得があればよいというわけで、もっぱらそのもとで資本および土地利用純収益の多きを追求しようというのである。これを企業化Ⅱのタイプと言つておこう。

(ハ) 第三は、土地および労働力を収益源要素とし、資本を費用要素として認識するタイプである。この場合には、収益源要素としての労働力の大きさをどのように表わすかということに問題がある。しかしここでは、固定資本額で代置して考えてみることにした。労働力利用が重視されるから土地との相対関係のもとで固定資本が増投される

と考えてみると妥当であろうし、土地および労働力利用が重視されるから農用地に固定資本を増投すると考えられてよいと思われるからである。収益源要素の大きさは土地評価額と固定資本額との和で表わされると考えてみるとことにして、費用負担としては物財資本利子が純生産額から差引かれる。利子率は『報告』における約束で、農業手形の割引率〇・〇九一一五がとられている。

$$\text{農企業的収益率(III)} = \frac{\text{純生産額} - \text{物財資本利子}}{\text{土地評価額} + \text{固定資本額}}$$

このタイプのもとでは、自己資本のみによる場合もいまの利子率のもとで利子が費用負担と考えられて、それは結局所得の一部になるのであるがそれはそれだけでよいのであって、もっぱら土地および労働力利用純収益の多きを追求しようとするものである。これを土地利用高度化タイプといつておこう。

(三) 利用データよりくる若干の矛盾

三種の農企業タイプ別収益率指標を考えてみたのであるが、『報告』所載のデータからこれらはすべて計算出来る。しかし、ここで考えなければならないことは、資本利用の農企業経営が行なわれているという条件のもとでこれらの計算値も意味があるわけであるから、必ずしもそういう条件のもとで評価されていない、現実のデータからの計算値は、厳密な意味での収益率とはならないかも知れないということである。

例えばさきに k とした、要素の大きさに対する要素用役の大きさの比率を考えてみよう。 k が三要素間で共通の値をとるという条件のもとで、農企業的収益率の比較も意味があるわけであるが、『報告』所載のデータで k の値を求めてみると、三要素間で共通の値にはならないであろう。もともと三要素間で質の絶対的な差異があるのであ

るから、同一水準でその大きさを評価することは難かしいものであるし、また、それぞれの要素に対する需給関係も一様ではないであろう。純粹に資本利用の農企業經營にあっては抽象的には η はきまつた値をとると考えられて現実に η がそななるような評価額は実在しにくいであろう。『報告』所載のデータを利用するよりほかにないということもあるて、 η は、抽象的に言えばという但し書を加え、さらに個々の要素についてそうであるというよりも、総合してみてそうであるという程度に考えてみることにして、『報告』所載のデータを利用してみようと思う。

しかし、土地評価額については、『報告』では法定地価で評価されているが、現実には農地の移動または取引価格もあってそれは法定地価よりも著しく高いのが通例であるので、時価的な試算地価も考えてみた。土地評価額は二通りになつたから、三タイプ二区分で結局六通りの農企業的収益率を計算したことになった。『報告』所載のデータでは法定地価最高の事例は耕地反当五六、〇〇〇円ほどであったが、これを時価で考えてみると二五万円に読みかえてみることも出来ると考えてみて、その倍率四・四二を法定地価のもとでの土地評価額に乗じて試算評価額とした。また、試算評価額のもとでの地代はその五分相当分としてみた。反当二五万円の試算地価のもとでは地代は反当一二、五〇〇円になるわけである。この〇・〇五の比率と、前述の資本利子率〇・〇九一二五は、さきに述べた η に当るわけであるが、両者は一致していない。

しかし、こういう矛盾をある程度許容しながら、『報告』データを加工してみた。これ以上の地代を考えてみるとことは望ましくもないし、この利子率以下の金利が望ましいことは事実であるが、農業經營の現実の場ではそれなかなか考えにくいである。

三 農業所得と農企業タイプ別純収益との比較考察の手順

(一) 農業所得と農企業タイプ別純収益との相関係数の試算

農業所得は、経営調査結果の集計から得られる経営成果のデータとしては、擬制計算の余地の最も少ないものであるから信憑性も高く、なかでは最も現実的なものである。しかし、さきに述べたようなタイプ別農企業的純収益は、資本利用の農企業経営として擬制的に考えてみた分析的指標である。そして、ここで検討してみたいことは、分析的に想定してみた純収益指標のなかで、どれにおいて純収益の多少と農業所得の多少との関連がよくみられているかということである。その関連がみとめられる分析的指標から、検討対象経営群の運営態様を説明してみようというものが本稿の主題である。

しかし、経営群における運営の態様が一様であるとは限らない。ある経営は企業化Ⅰのタイプ、他の経営は企業化Ⅱのタイプ、さらにもう一つの経営は土地利用高度化タイプの純収益の増大を追求しながら所得の増大を実現しているとすれば、全体としてどのタイプの企業的運営で所得を増大しているかは解らない。また、農企業として運営されている経営が現実に多いとは限らないし、『報告』データを利用して作成し得る農企業タイプ別純収益も純粋のものからはかなり遠いものである。さらに、ある経営は企業化Ⅰのタイプで運営され、他の経営は土地利用高度化タイプで運営されて所得の増大がはかられているとしても、実現された所得からみて果してそう言えるかどうかということもある。経営主自身は企業化Ⅰのタイプの運営をしている積りでも、他の経営との比較からみれば土地利用高度化タイプの運営と考えられた方が、実現された所得との関連からみて妥当であるというような場合もある

ろう。

したがって、大量観察的方法によることにして、所得と農企業タイプ別純収益との相関係数を試算してみると
にし、あるタイプのその値がかなりの相関度を示すように大きく、しかもそれぞれのタイプごとの相関度のなかで
は最大値を示すような場合には、検討対象経営群ではそのタイプの農企業的純収益の増大が所得の増大につながり
易いと理解することにする。そして、そのような経営群の所得の増大のためにはそのタイプの企業的運営を行なつ
てその純収益の増大につとめた方が、一般的に言えば、よいのではないかというように考えてみる。また、農企業
的純収益が分析的且つ農企業的である所以のものは農企業タイプ別収益率にあるのであるから、さらに分析を深め
るとすると、所得とそれとの相関係数も試算して、検討することが必要であろう。

(二) 相関係数算出の手順

『報告』所載のデータから、あるいは一部はそれを加工しながら、まず、収益源要素の大きさを示すような土地
評価額・物財資本額を個別事例ごとに整理し、費用要素用役の費用額を示すような地代・労働費・物財資本利子を
同様に整理してみる。附表Ⅰに示す通りである。つぎに、農業所得と純生産額、それぞれのタイプのもとでの農企
業的収益率の計算値を示したのが附表Ⅱである。

さらに、相関係数算出を容易にするために、実数値そのままを用いずに指標値に直してみた。つまり、農業所得
指數、純生産額指數、農企業的収益率指數であるが、三三年度調査事例は全部で八〇であるが経営形態別に区分し
て検討することに重点を置いたので、田作形態二八事例のそれぞれの平均値を一〇〇とする指標に直した。三五年
度調査事例は全部で四五であって、経営形態別に区分して検討するには事例数が少なかったので全事例について検

討する」と立前として、全事例のそれぞれの平均値を100とする指數に直してみた。農企業的純収益指數は純生産額指數と農企業的収益率指數との相乗平均値となるが、これと農業所得指數とは附表Ⅲに示す如くである。

附表Ⅲの數値を用いて、次の式で相關係數を算出した。

$$\rho = \frac{\sqrt{\sum X_t Y_t - \frac{1}{N} (\sum X_t)(\sum Y_t)}}{\sqrt{\sum X_t^2 - \frac{1}{N} (\sum X_t)^2} \sqrt{\sum Y_t^2 - \frac{1}{N} (\sum Y_t)^2}}$$

ここで、 X_t は個別事例 t の農業所得指數値、 Y_t は農企業的純収益指數値であり、 N は検討事例数である。また、全部についてではないが、農業所得指數値と農企業的収益率指數値との相關係數の算出を行なつてみた。この場合、 Y_t には農企業的収益率指數値がくる。

検討事例数についてあるが、『報告』事例は経営形態別に選定整理され、おり、農業所得と農企業的収益率との相關係數試算に意味をもたせるとなるべく同類の、なかでも価格関係や技術関係で同類の事例間で検討してみる必要もあって、同一の形態で事例数もそれほど少くないものの間で相關係數を求める」とを中心とした。これらの整理・計算については、すべて瀬戸作子氏の労を煩わしたものである。

四 農業所得の増大と農企業的運営との関連

- (一) 経営形態別
- (イ) 田作形態(第一表)

第1表 田作形態事例における農企業的運営と農業所得との相関度
——農業所得との相関係数値——

| 検討事例区分別 企業的運営指標 | 全例 (28例) | 耕地 2町未満 (8) | 耕地 2~4町 (14) | 耕地 4町以上ない事例 (6) | 所得の少い事例 (16) | 所得の多い事例 (12) | |
|--------------------|--|-------------------|--------------------|-----------------------|-----------------|-----------------|-------|
| | | | | | | | |
| 農企業的純収益指標 | $\checkmark (\text{純生産}) \times (A_1/K_1)$ | 0.85 | 0.74 | 0.81 | -0.12 | 0.51 | 0.47 |
| | $\checkmark (\text{純生産}) \times (A_2/K_1)$ | 0.83 | 0.79 | 0.79 | -0.23 | 0.74 | 0.39 |
| | $\checkmark (\text{純生産}) \times (I/B_1)$ | 0.83 | 0.78 | 0.87 | -0.40 | 0.77 | 0.48 |
| | $\checkmark (\text{純生産}) \times (I/B_2)$ | 0.83 | 0.80 | 0.88 | -0.36 | 0.79 | 0.49 |
| | $\checkmark (\text{純生産}) \times (I'/C_1)$ | 0.85 | 0.84 | 0.85 | -0.02 | 0.81 | 0.47 |
| | $\checkmark (\text{純生産}) \times (I'/C_2)$ | 0.85 | 0.88 | 0.86 | 0.00 | 0.83 | 0.51 |
| 農企業的収益率指標 | A_1/K_1 | 0.42 | 0.48 | 0.44 | -0.66 | 0.25 | -0.41 |
| | A_2/K_1 | 0.49 | 0.61 | 0.49 | -0.60 | 0.46 | -0.33 |
| | I/B_1 | 0.59 | 0.66 | 0.66 | -0.71 | 0.58 | -0.09 |
| | I/B_2 | 0.59 | 0.72 | 0.68 | -0.66 | 0.65 | -0.01 |
| | I'/C_1 | 0.52 | 0.64 | 0.59 | -0.42 | 0.49 | -0.17 |
| | I'/C_2 | 0.53 | 0.68 | 0.59 | -0.39 | 0.55 | -0.05 |

$$A_1/K_1 = \frac{\text{純生産額} - \text{地代(法定)}}{\text{物財および労働調達資本}}$$

$$A_2/K_1 = \frac{\text{純生産額} - \text{地代(試算)}}{\text{物財および労働調達資本}}$$

$$I/B_1 = \frac{\text{純生産額} - \text{労働費}}{\text{物財および土地(法定地価)調達資本}}$$

$$I/B_2 = \frac{\text{純生産額} - \text{労働費}}{\text{物財および土地(試算地価)調達資本}}$$

$$I'/C_1 = \frac{\text{純生産額} - \text{物財資本利子}}{\text{土地評価額(法定)} + \text{固定資本}} \quad I'/C_2 = \frac{\text{純生産額} - \text{物財資本利子}}{\text{土地評価額(試算)} + \text{固定資本}}$$

三三年度『報告』所載の田作形態二八事例間で農業所得と農企業的純収益との相関係数を算出してみると、相関度は一様に高く、六通り(三タイプ二区分)の相関度の差は殆んどみられない。どのようなタイプの純収益で考えてみても、純収益の多いものに所得も多く、その少ないものには所得も少ないという関係がみられている。しかし、所得と農企業的収益率との相関度は前者に比して一般にかなり低くなっている。

これを耕作規模別に区分してそれぞれの区分にぞくする事例間で考察してみると、四町以上耕作事例間では所得と農企業的純収益との相関度は一般にかなり低く、かえつて逆の相関を示すものもあり、また、農企业的収益率と

の相関係数は負の数値で、しかもかなりの逆相関がみられる。これに対し、二町未満耕作、二～四町耕作の事例間では農企業的純収益との相関度が高く、前者では土地利用高度化タイプの純収益、後者ではその純収益との相関度も高いが企業化Ⅱのタイプの純収益との相関度が最も高い。農企業的収益率との相関度は、一般に時価的な試算地価のもとでのそれが高く、二町未満のものでは土地利用高度化タイプの収益率とのそれもかなり高いがなかでは最高でなく、二～四町のものでは企業化Ⅱのタイプの収益率とのそれがかなり高くなかでは最高である。田作形態全事例間では所得と農企業的純収益との相関度は一般に高かったのであるが、これは四町未満耕作の事例間での傾向が反映されたものであろう。四町以上耕作の事例間では所得と農企業的収益率とは逆相関関係にあって、農企業的純収益との相関度が著しく低いということは、農企業的運営を本稿に示したような指標でみようとする限り、企業的に運営してその収益率の增高を図つても所得の増大にはつながらないことを示している。そこでは一般に所得も多いと思われるるのであるが、それはなかでも自作地が広いということに依存するようなものと思われる。

さらに、所得の比較的多い事例（所得の平均値よりも多いもの）と少ない事例に区分してそれぞれの事例間で考察してみると、前者では所得と農企業的収益率とは相関関係がみとめられないが、なかには逆相関を思われるようなものもあるて、農企業的純収益との相関度もかなり低い。これに対して後者では、農企業的純収益との相関度は一般に高く、なかでも土地利用高度化タイプの純収益との相関度が最高であるが、その収益率との相関度はそれほど高くなく、なかでは最高というほどでもない。

（四）主畜形態（第二表）

搾乳牛飼養を中心とする主畜形態九事例間にあっては、所得と土地利用高度化タイプの純収益との相関度が著る

第2表 農企業的運営と農業所得との相関度
——主畜形態・果樹作形態・複合形態——

| 検討事例区分 | | 主畜形態 (9例) | 果樹作形態 (14例) | 複合形態 (12例) |
|-----------|--|--------------|----------------|---------------|
| 企業的運営指標 | | | | |
| 農企業的純収益指標 | $\sqrt{(\text{純生産}) \times (A_1/K_1)}$ | 0.80 | 0.75 | 0.96 |
| | $\sqrt{(\text{純生産}) \times (A_2/K_1)}$ | 0.93 | 0.92 | 0.96 |
| | $\sqrt{(\text{純生産}) \times (I/B_1)}$ | 0.86 | 0.76 | 0.90 |
| | $\sqrt{(\text{純生産}) \times (I/B_2)}$ | 0.91 | 0.80 | 0.74 |
| | $\sqrt{(\text{純生産}) \times (I'/C_1)}$ | 0.94 | 0.68 | 0.74 |
| | $\sqrt{(\text{純生産}) \times (I'/C_2)}$ | 0.97 | 0.74 | 0.60 |
| 農企業的収益率指標 | A_1/K_1 | 0.46 | 0.38 | 0.77 |
| | A_2/K_1 | 0.76 | 0.61 | 0.82 |
| | I/B_1 | 0.62 | 0.60 | 0.82 |
| | I/B_2 | 0.79 | 0.67 | 0.75 |
| | I'/C_1 | 0.78 | 0.35 | 0.74 |
| | I'/C_2 | 0.89 | 0.46 | 0.61 |

しく高く、とくに時価的な試算地価のもとでのその収益率との相関度もかなり高くてなかでは最高である。主畜形態事例をさらに区分してそれぞれの事例間で検討してみるとが出来れば、如何なる区分の事例間における相関関係が強く反映されてこうなっているかが判明するかも知れないが、事例数が少ないのでこれ以上に深入りは出来ない。

しかし、田作形態全事例についてみた、所得と農企業的収益率との相関度に比して、時価的な試算地価のもとでの、主畜形態における相関度はかなり高いのであるから、主畜形態においては、農企業的運営と所得増大との関連は比較的顕著であるということが出来るのである。主畜形態となって所得を増大しようと思うと、土地利用高度化を追求しながら是非とも農企業的に運営しなければならない、と言えそうである。

(iv) 果樹作形態(第二表)

果樹作形態一四事例間では、所得と時価的な試算地価のもとでの企業化Ⅰのタイプの純収益との相関度は高いが、

その収益率との相関度は低い方ではないがなかでは最高というほどでもない。したがって、果樹作形態では企業化Iのタイプの純収益を増大すれば所得も増大するが、その収益率の增高を通じてそうなるとは強くは言えない。また、主畜形態におけるように土地利用高度化タイプの収益率を增高し純収益を増大すれば所得も増大する、とも強くは言えないようである。

(二) 複合形態（第二表）

複合形態一二事例間では、所得と企業化Iのタイプの純収益との相関度が著しく高く、時価的な試算地価のもとのその収益率との相関度もかなり高くてなかでは最高である。したがって、複合形態にあっては、時価的な試算地価のもとで企業化Iのタイプの収益率を高めその純収益の増大を図れば、所得の増大を期することが出来るといつてもよいであろう。

(三) 若干の考察

主畜形態および複合形態においては、時価的な試算地価のもとでそれぞれ土地利用高度化タイプおよび企業化Iのタイプの企業的運営につとめてその純収益の増大を図れば、所得の増大を期することが出来るといえるのに、田作形態においては所得と農企業的収益率との相関度は低く、果樹作形態においても農企業的収益率の增高との関連で企業化Iのタイプの純収益と所得との相関度が高くなっているとは言い切れなかった。まえの二形態では、ともかくもあるタイプの農企業的運営と所得の増大との関連がみられているのに、あとの二形態ではそれがはつきりしないのは何故か。

これは、あとの二形態では、所得と純生産額との相関度の高さのゆえに農企業的純収益との相関度が高くなつて

いるという度合が強いことを意味しているのではないかと思われる。つまり、田作形態や果樹作形態においては純生産額がまえの二形態との比較においては相対的に大きいから、こうなるのではないかということである。純生産額は粗収益から物財費用を差引いたものであるが、物財の価格水準が他の形態におけるものと同じであると考えてみると、純生産額が大きいということは粗収益が大きいということである。そしてこのことは、米や果物の生産者価格が他の農産物のそれに比較しては高水準にあるからであると考えられる。あるいは技術水準が比較的高く物財投入量に相対的に収量が多くなっているからであるとも考えられるが、米や果物の相対的価格高をみとめることは誤りではあるまい。田作形態や果樹作形態にあってはそこで主要生産物の価格が他の生産物に比して割高であると考えられるので、所得は、農企業的収益率との関連があまりなくとも、とくに純生産額の大きさに引きづられて、農企業的純収益との関連としてはかなり大きくなると考えられる。もつとも、みぎのような関係は田作形態に顯著であって、果樹作形態はこれと主畜および複合両形態の中間に位していたものと思われる。果物の種類や銘柄等級、その生産事情、地域による価格差があるからであろう。

またさきに、田作形態四町以上耕作規模の事例間では所得は農企業的収益率とはむしろ逆相関にあり、農企业的純収益との関連が殆んどみられなかつたことを述べたが、それは何故か。このことについては、検討事例が六例で甚だ少ないということもある。それはともかく、本稿での農企业的収益率は、純生産額から費用要素用役の費用額を差引いたものを収益源要素の大きさを表現する貨幣価値額で割った比率である。そして、一般的に言えば、農企业的収益率が高まれば農業所得も多くなると考えられるものである。ところが、この収益率は、厳密な意味においてではないにしても、耕地単位面積当たり、労働単位時間当たり、物財資本単位額当たりの、それぞれ三要素の効率の

うち二者を総合したようなものを意味している。田作形態でも二町未満耕作規模の事例間では所得と農企業的収益率との相関度がかなり高かったが、二～四町規模の事例間ではこれがやや低下し、そして四町以上耕作規模の事例間ではこれがかなりの程度の逆相関に転じた。このことは、耕作規模が大きくなり、それが四町以上にもなると、所得の増大のためにはそこでは収益源要素単位量当たりの効率が問題ではなくなってくるということではないか。それよりも、そこでは耕作規模が大きくとも一家族による経営であるから、そこで所得の増大のためには一經營当たりの利益総量が問題になってくるのであろう。つまり、収益源要素単位量当たりの効率を問題にしては、四町以上の耕作規模の経営をうまく運営出来ないということなのではないか。前のところでは、なかでも自作地の広さに依存して所得が多くなつていて農企業的に運営されていないと言つてみたのであるが、しかもなお農企業的に運営されなければならぬとしてみると、技術の体系や水準を改善・向上しなければならないと言えるかも知れない。そしてそれは、物財資本なかでも固定資本を増投して、より資本集約化の方向において考えられるべきなのではなかろうか。田作形態全事例のなかで考えてみると、そう言えそうである。

ここで、あらためて農業所得と分析的純収益との相似の条件をふり返りながら考えてみると、所得が農企業的収益率とはあまり関連がないのに農企業的純収益とはかなり関連がみられるということは、所得が農企業的純収益そのものとはあまり関連がないことである。所得の多少を分析的純収益そのものの多少から説明することは出来ないということである。それにも拘らず、ここでの農企業的純収益と所得との相関度がかなり高いというのは、所得と純生産額との相関度が高いからである。これについては田作形態における相対的米価高に触れてみたのであるが、それとは別に、所得が農企業的運営とは関連なしに追求されているとしてみると、田作形態にもつとも自作

農的所得追求が行なわれ、外給分要素用役の費用負担をなるべく節約して、自作地・家族労働力・自己資本利用報酬をなるべく多くしようということで農業經營を行なっている、と言えるかも知れない。また、所得が農企業的収益率とは逆相関にあり、農企業的純収益とは低い相関にあるということは、右の傾向を一層強調したものとして理解されよう。四町以上のものではこうしても所得が少なくならないのかも知れない。

さらに、農企業タイプごとに所得と農企業的収益率との相関度がいずれも高い場合があるということは、例えば複合形態にみられたのであるが、それぞれ特徴ある多角化部門をもつ經營の集まりのなかでは、全体がどのタイプとしても一応考えられるということなのではなかろうか。

(二) 調査事例全例について

(1) 全事例についての平均的考察

いままでの考察で、土地評価額については時価的な試算地価のもとで考えてみた方が農企業的運営と所得増大との関連がより多くみられたように思われる所以、試算地価のもとでの企業化Ⅰのタイプ、企業化Ⅱのタイプおよび土地利用高度化タイプの純収益の三つにしぼって、所得との相関度を示してみる。經營形態別を捨象して考察しなければならないので、農企業的収益率との相関度はとりあげなかつた。そして、二三年度および三五年度の調査全事例を年度ごとに検討の対象とした。

ここでは、所得と農企業的収益率との相関度について検討しなかつたので、所得と農企業的運営との関連の考察は不十分にならざるを得ない。それで、以下の考察では、農企业的純収益を純生産額と農企业的収益率との積に相当する大きさとして、簡単に割切つてみることにする。純生産額も多く、農企业的収益率も高いときに農企业的純

収益も多くなるとするわけである。もともと所得と純生産額との相関度は、自作農的所得追求態様のもとでは極めて高いのであるから、前項までの考察よりも農企業的運営との関連という面では後退せざるを得ない。ただし、前項で考察した、経営形態別の企業的運営態様を予備知識としながら、なるべく企業的運営との関連に接近して行きたい。そして、ここでは、三三年度調査結果に対する三五年度のそれに焦点をしぼってみることにする。

全事例についてみた所得と農企業的純収益との相関度は、第三表に示す通りで、一般にその相関度は高いと言つてよいであろう。それは、漠然とではあるが、前にみた田作、果樹作、主畜、複合の諸形態における相関度の、田作形態のそれにウエイトを重くした平均値的な高さである。もちろん、全事例のうちにはその他の経営形態のものもある。三三年度調査八〇事例間では三つのタイプの農企業的純収益との相関度の差は殆んどないが、三五年度調査四五事例間では企業化Ⅱのタイプの純収益との相関度がやや低下し、企業化Ⅰのタイプの純収益との相関度がやや高くなっている。三五年度調査事例は、三三年度の調査事例の一部と重複しているが、事例数が減っているので、これをもつて三三年度に対する三五年度の変貌とは言い得ないかも知れないが、何らかの傾向を示しているのではなかろうか。

つまり、所得増大と関連させながら理解してみると、雇傭労働依存的または労働節約的な企業化Ⅱのタイプへの歩みが幾分後退し、借地農的または地代節約的な企業化Ⅰのタイプへの歩みが幾分前進しているという兆候が三五年度にはみとめられるということであり、同時に、土地利用高度化タイプの運営の重みが依然として重いと言うことである。このことについては、あとでも若干分析して考えてみたい。

(2) 労働の資本装備率の高低別

経営形態別を捨象しながら、しかもやや分析的に考察するために、労働の資本装備率の高低による区分を考えた。ここでは資本装備として物財資本と試算土地評価額との和を考えてみて、これを農業労働時間数で割って、その平均値を境にして資本装備率の高い事例と低い事例とに分けてみた。土地を資本に入れてみたのは、本稿では一般企業に準じて考へているからであり、時価的な試算地価で考へてみたのは、その方が所得との関連が大きいよう今までの考察から思われたからである。この資本装備率は、それ以上の労働時間の投入を考えないとしてみると、労働利用経営規模の大きさを示すと考えられる。それが高い場合には労働生産性は一般に高いであろう。

所得と三つのタイプの農企業的純収益との相関度を資本装備率の高い事例間でみたものと低い事例間でみたものは、同じく第三表に示されている。いずれの相関度も高いのであるが、兩年度に共通して、資本装備率の高い事例間では土地利用高度化タイプの純収益との相関度が最も高く、資本装備率の低い事例間では企業化Iのタイプの純収益との相関度が最も高い。また、これらの関係を、三三年度調査に対比して三五年度調査をみると、次のように言ふことも出来よう。まず、企業化Iのタイプの純収益を増大するということは、資本装備率の高低にかかわらず所得の増大につながり易かったが、三五年度調査では資本装備率の高いものにこのつながり方が一層顕著になった。つぎに、企業化IIのタイプの純収益を増大するということは、資本装備率の高いものでは企業化Iのタイプにおけるよりも所得の増大につながり易く、その低いものではそれほどなく、両者の相関度にやや開きがあったが三五年度調査では両者の相関度の開きが目立つて來た。つまり、資本装備率の高いものではその純収益の増大は所得の増大になるが、その低いものではそれほど所得の増大にはならないということである。さらに、土地利用高度化タイプの純収益を増大するということは、資本装備率の高いものでは所得の増大に最もつながり易

第3表 農企業的純収益と農業所得との相関度

—全事例、資本装備率高低別、家族労働1時間当たり農業所得多少別—

| 調査年度別 検討事例区分別 | 農企業的純収益指標 | | |
|----------------------|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| | $\sqrt{\text{純} \times A_2/K_1}$ | $\sqrt{\text{純} \times I/B_2}$ | $\sqrt{\text{純} \times I/C_2}$ |
| 33年度調査全事例 | 0.81 | 0.79 | 0.82 |
| 35年度調査全事例 | 0.84 | 0.73 | 0.82 |
| 33年度調査事例 | | | |
| 資本装備率の高いもの | 0.82 | 0.88 | 0.93 |
| 資本装備率の低いもの | 0.83 | 0.74 | 0.79 |
| 35年度調査事例 | | | |
| 資本装備率の高いもの | 0.88 | 0.90 | 0.93 |
| 資本装備率の低いもの | 0.83 | 0.63 | 0.83 |
| 33年度調査事例 | | | |
| 家族労働1時間当たり農業所得の多いもの | 0.64 | 0.80 | 0.77 |
| 家族労働1時間当たり農業所得の少ないもの | 0.85 | 0.65 | 0.75 |
| 35年度調査事例 | | | |
| 家族労働1時間当たり農業所得の多いもの | 0.79 | 0.76 | 0.75 |
| 家族労働1時間当たり農業所得の少ないもの | 0.75 | 0.28 | 0.75 |

$$\text{資本装備率} = \frac{\text{物財資本} + \text{土地評価額(試算)}}{\text{農業労働時間}}$$

資本装備率の高低別は、調査年度ごとに、平均値より多いものを高いとし、少ないものを低いとした。家族労働時間当たり農業所得の多少別についても同じ。

かつたが、その低いものではそれほどではなかった。しかし三年調査では資本装備率の低いものでも所得増大との関連は企業化Iのタイプにおけるそれと同様に大きいものになった。

全事例の平均的考察で指摘した、企業化IIのタイプ後退の兆は、とくに資本装備率の低いものでの所得増大との関連が低いという問題として、また、企業化Iのタイプ前進の兆はとくに資本装備率の高いものでの所得増大との関連が高いという問題として、さらに土地利用高度化タイプの依然たる重みは資本裝備率の高低にかかわらないで所

得増大との関連が高いという問題として理解される。

(iv) 家族労働一時間当たり農業所得の多少別

農業所得を経営成果の指標と考えるにしてもそれだけでは不十分である。家族農業従事者数や耕作規模が大きくなればその絶対額は一般に大きくなるからである。最終的に経営成果の良不良を判定する指標は何かということは難かしい問題であろうが、ここでは一步前進して家族労働時間数に相対的な農業所得の大きさをもつて経営成果の良不良を判定してみることにした。いままでは、所得の増大という表現のみをして来たが、経営成果が良好な事例ではこの通りでよいとしても、その不良な事例では所得の低下防止というような表現の方が適切であろう。

農業所得を家族労働時間数で割って、その平均値より多いものを経営成果が比較的良好な事例、その少ないものを比較的不良な事例として、それぞれの事例間で前ののような相関度を示してみたのが、同じく第三表である。その相関係数値の相対関係から、次のように言うことが出来よう。まず、企業化Ⅰのタイプの純収益を増大することは、所得を増大し積極的に経営成果を良好にすることととくにつながっていたとは言えないが、所得の低下を防止し消極的に経営成果をそれほど不良にしないためには大いに役立っていた。三五年度調査では、それが所得の増大や積極的な経営成果の向上にも最も役立つようなものになった。つぎに、企業化Ⅱのタイプの純収益を増大するということは、所得増大、経営成果の向上という積極面では大いに役立っていたが、所得の低下防止や経営成果の不良化の防止という消極面ではそれほどではなかつた。三五年度調査ではその消極的役割は一層低下し、両者の相関度の開きがかなり大きくなつた。さらに、土地利用高度化タイプの純収益を増大するということは、経営成果の向上といふ積極面でも、その不良化防止という消極面でも所得の増大または低下防止との関連が大きく、三五年度調査で

もこの傾向を持続している。

さきに全事例の平均的考察で指摘した企業化Ⅱのタイプ後退の兆は、とくに経営成果の比較的不良なものにおける所得低下防止の役割の減退として、また、企業化Ⅰのタイプの前進の兆は、とくに経営成果の比較的良好なものにおける所得増大の役割の向上として、さらに、土地利用高度化タイプの依然たる重みは、経営成果の良不良にかかわらない問題として理解される。

(二) 資本装備率高低別・家族労働一時間当たり農業所得多少別

資本装備率の高い事例の中にも経営成果の比較的不良なものもあり、その低い事例の中にも成果の比較的良好なものもある。第四表および第五表では、三三年度および三五年度の調査事例を資本装備率の高低と家族労働一時間当たり農業所得の多少とから四区分し、その耕作規模別・経営形態別事例配分を示している。また第六表では調査年度ごとに、それぞれ四区分した事例間での、農業所得と農企業的純収益との相関度を示している。両者を対照しながら、次のように言つことが出来るのではないかと思われる。

資本装備率が高、経営成果も比較的良好な事例では、三三年度調査では耕作規模で二町四町のもの・経営形態で田作や果樹作のもののウエイトが重く、したがって田作形態二・四町規模や果樹作形態二・四町規模のものに代表される姿であるが、ここでは企業化Ⅱのタイプの純収益の増大が所得の増大に最もつながっていた。三五年度調査では、耕作規模で二町未満のもの・経営形態で田作や果樹作形態のものにウエイトが重く、したがって二町未満の規模の田作形態や果樹作形態に代表される姿であるが、土地利用高度化タイプの純収益の増大とのつながりの方が目立つて来て、企業化Ⅱのタイプのそれとの関連はうすくなつた。

第4表 昭和33年度調査事例区分

| 農業所得の企業的分析 | 耕作規模別 形態別 | 資本装備率の高い事例 | | | | | 資本装備率の低い事例 | | | | |
|--------------------------|--------------|------------|----|------|------|----|------------|----|------|------|----|
| | | 2町未満 | | 2~4町 | 4町以上 | 計 | 2町未満 | | 2~4町 | 4町以上 | 計 |
| | | 田 | 作 | 17 | 3 | 7 | 3 | 13 | - | 1 | 3 |
| 家族労働 1時間当たり農業所得の多い事例 | 烟 | 作 | 3 | - | - | 2 | 2 | - | - | 1 | 1 |
| | 養 | 作 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 蚕 | 畜 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 主 | 果 | 7 | 2 | 3 | - | - | 5 | 1 | 1 | - |
| | 樹 | 樹 | 7 | 2 | 3 | - | - | 5 | 1 | 1 | - |
| | 蔬 | 菜 | 2 | 1 | - | - | - | 1 | - | - | - |
| | 茶 | 作 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 複 | 合 | - | - | 1 | - | - | 1 | - | - | - |
| | 計 | | 30 | 6 | 11 | 5 | 22 | 2 | 2 | 4 | 8 |
| | 計 | | | | | | | | | | |
| 家族労働 1時間当たり農業所得の少ない事例 | 田 | 作 | 11 | 4 | 3 | - | 7 | 1 | 3 | - | 4 |
| | 烟 | 作 | 3 | - | 1 | 1 | 1 | 1 | - | 1 | 2 |
| | 養 | 作 | 4 | - | 1 | 1 | 1 | 3 | - | 3 | 3 |
| | 蚕 | 畜 | 9 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 3 | - | 7 |
| | 主 | 果 | 3 | 1 | 1 | - | 1 | 4 | 2 | - | 6 |
| | 樹 | 樹 | 4 | 1 | 1 | - | 1 | 1 | 2 | - | 3 |
| | 蔬 | 菜 | 4 | 1 | 1 | - | 1 | 1 | 2 | - | 3 |
| | 茶 | 作 | 1 | - | 1 | - | 1 | 5 | 2 | - | 9 |
| | 複 | 合 | 11 | - | 1 | - | 1 | 2 | 2 | - | 2 |
| | 計 | | 50 | 7 | 7 | 2 | 16 | 16 | 12 | 6 | 34 |
| 合 計 | | 80 | 13 | 18 | 7 | 38 | 18 | 14 | 10 | 42 | |

資本装備率は低いにもかかわらず、経営成果の比較的良好な事例として、三三年度調査では耕作規模で四町以上のもの・経営形態で田作のものにウエイトが重く、田作形態四町以上のものが代表しているが、農企業的純収益と所得との相関度は一般に低かった。三五年度調査では、耕作規模で二・四町のもの・経営形態で複合のもののウエイトが重く、複合形態二・四町のものが代表しているが、土地利用高度化タイプの純収益の増大と所得増大とのつながりがなかでは大きかった。

資本装備率が高いにもかかわらず、経営成果の比較的不良な事例では、三三年度調査では耕作規模で四町未

第5表 昭和35年度調査事例区分

| | 耕作規模別 形態別 | 資本装備率の高い事例 | | | | 資本装備率の低い事例 | | | | 計 |
|--------------------------|--------------|------------|------|------|----|------------|------|------|----|----|
| | | 2町未満 | 2~4町 | 4町以上 | 計 | 2町未満 | 2~4町 | 4町以上 | 計 | |
| 家族労働 1時間当たり農業所得の多い事例 | 田作 | 7 | 4 | 1 | 6 | — | 1 | — | 1 | 1 |
| | 畠作 | 1 | — | — | — | — | 1 | — | — | 1 |
| | 養蚕 | 1 | — | — | — | 1 | — | — | — | 1 |
| | 畜主 | 1 | — | 1 | 1 | — | — | — | — | — |
| | 果樹作 | 2 | 2 | — | 2 | — | — | — | — | 1 |
| | 蔬菜作 | 1 | — | — | — | 1 | 3 | 1 | 4 | |
| | 複合 | 6 | 1 | — | 2 | — | — | — | — | |
| | 計 | 19 | 7 | 2 | 11 | 2 | 5 | 1 | 8 | |
| 家族労働 1時間当たり農業所得の少ない事例 | 田作 | 6 | 2 | — | 2 | 4 | — | — | 4 | |
| | 畠作 | 2 | — | 1 | 1 | — | 1 | — | 1 | |
| | 養蚕 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| | 畜主 | 6 | — | — | 1 | 1 | 2 | 1 | 5 | |
| | 果樹作 | 2 | — | — | — | 2 | — | — | 2 | |
| | 蔬菜作 | 2 | — | — | 1 | 1 | — | — | 1 | |
| | 複合 | 8 | — | — | — | 5 | 3 | — | 8 | |
| | 計 | 26 | 2 | 0 | 3 | 14 | 5 | 2 | 21 | |
| 合 | 計 | 45 | 9 | 2 | 5 | 16 | 16 | 10 | 3 | 29 |

満のもの・経営形態で田作のもののウエイトが重く、田作形態二町未満および二~四町のものが代表的であるが、土地利用高度化タイプの純収益の増大追求が所得の低下を防止していたと言える。三五年度調査では、この区分の事例配分も少なく、耕作規模や経営形態でウエイトを示し得ないが、そのことであってか、農企業的純収益と所得との相関度は低くなっている。

資本装備率も低く経営成果も比較的不良な事例では、三三年度調査では耕作規模で四町未満のもの・経営形態で複合・主畜・果樹作のもののウエイトが重く、複合形態二町未満のもの・主畜形態二~四町のもの・果樹作形態二町未満のものなどの平均的な姿になるわけであるが、企業化Iのタイプの純収益の増大追求で所得の低下を防止

第6表 農企業的純収益と農業所得との相関度

| 調査年度別 検討事例区分別 | 指標別 | 農企業的純収益指標 | | |
|------------------|-----|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| | | $\sqrt{\text{純} \times A_2/K_1}$ | $\sqrt{\text{純} \times I/B_2}$ | $\sqrt{\text{純} \times I/C_2}$ |
| 33年度調査事例 | | | | |
| 資本装備率の高いもの | | | | |
| { 家族労働1時間当たり所得多 | | 0.70 | 0.92 | 0.89 |
| 少 | | 0.85 | 0.53 | 0.91 |
| 資本装備率の低いもの | | | | |
| { 家族労働1時間当たり所得多 | | 0.38 | 0.45 | 0.52 |
| 少 | | 0.85 | 0.66 | 0.73 |
| 35年度調査事例 | | | | |
| 資本装備率の高いもの | | | | |
| { 家族労働1時間当たり所得多 | | 0.85 | 0.87 | 0.92 |
| 少 | | 0.30 | 0.49 | 0.29 |
| 資本装備率の低いもの | | | | |
| { 家族労働1時間当たり所得多 | | 0.78 | 0.74 | 0.81 |
| 少 | | 0.76 | 0.26 | 0.78 |

したようにもえる。三五年度調査では、耕作規模で二町未満のもの・経営形態で複合および主畜のもののウェイトが重く、二町未満の複合および主畜形態のものに代表されるわけであるが、土地利用高度化タイプの純収益の増大追求で所得の低下を防止したといつてもよいようである。

資本装備率の高低にかかわらず経営成果の比較的良好なものに、耕作規模の比較的小さいものや複合形態事例のウェイトが増すのであるが、所得増大と土地利用高度化タイプとつながりが進み、また、資本装備率も低く経営成果も不良なものに、耕作規模の比較的小さい事例のウェイトが増すのであるが、やはり所得低下の防止と土地利用高度化タイプとのつながりが進んだといえよう。

前項で考察したように、農企業的純収益の増大と所得増大との関連は経営形態別にいささか異なる様相がみとめられて、主畜形態では土地利用高度化タイプ、複合お

よび果樹作形態では企業化Ⅰのタイプ、田作形態でははつきりしないが企業化Ⅱのタイプとの関連がみとめられた。また、耕作規模別にみると、四町未満のものでは土地利用高度化タイプの純収益との関連に傾斜せざるを得ないようであった。それゆえ、三三年度に比して三五年度では果樹作・主畜・複合形態などの重みが増して来たと考え、固定資本の投入も漸増の傾向にあつたと考えてみると、調査全事例の平均的考察で指摘した事項は、農業経営の一般の傾向を示しているとは考えられないであろうか。もちろん調査事例がこの傾向を代表するように十分吟味されて選定採択されていたとは思われないが、ある程度分析的に追求してみると、それなりに変貌の一端を示すことになるのであるまい。

所得の増大と関連させながら農業経営運営態様の変貌の兆候をみぎのように理解してみると、次の二つの問題を提供し得るであろう。一つは、企業化Ⅰのタイプにおける地代水準についてである。農企業的収益率の視点からみれば低地代が望ましいのであるが、自作地にあってはそれは所得の一部になるのであるから地代は低ければ低いほどよいということにならないであろう。地代水準や地価水準はどの程度において均衡するであろうかという問題である。二つには、土地利用高度化タイプにおける利子率水準についてである。農企業的収益率の視点からみれば低ければ低いほどよいということになろう。以上の二つの問題は、一方では、自作農的運営の位置づけを今後どのように変えて行くかということに関連しているし、他方では、技術問題や価格関係をどのように体系づけ、または調整して行くかということに関連していく。

附表 I の 1 昭和33年度調査事例

| 農業所得の企業的分析 | 事例番号 | 土地(耕地、農用宅地、採草地、牧場) | | | 物財資本 | | 地代 | | 労働費 | 物財資本利子 |
|------------|-------|--------------------|------------|--------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | 法定評価額 | 試算評価額 | うち耕地面積 | 固定資本 | 流動資本 | 法定地代 | 試算地代 | | |
| | | 円 | 円 | 反 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| | 1,001 | 806,867 | 3,566,352 | 76.3 | 749,502 | 222,193 | 69,135 | 178,318 | 633,264 | 88,667 |
| | 1,084 | 679,789 | 3,004,667 | 41.8 | 579,338 | 140,250 | 53,815 | 150,233 | 418,784 | 65,662 |
| | 1,086 | 558,221 | 2,467,337 | 30.0 | 1,066,932 | 94,114 | 37,655 | 123,367 | 268,815 | 105,945 |
| | 1,088 | 1,526,467 | 6,746,984 | 43.1 | 1,256,889 | 126,128 | 54,948 | 337,349 | 337,634 | 126,200 |
| | 1,010 | 603,733 | 2,668,500 | 18.5 | 474,570 | 98,947 | 37,330 | 133,425 | 165,257 | 52,333 |
| | 1,069 | 1,388,901 | 6,138,942 | 44.4 | 1,032,847 | 165,377 | 59,070 | 306,947 | 278,437 | 109,338 |
| | 1,015 | 853,602 | 3,772,921 | 22.9 | 716,270 | 140,069 | 23,528 | 188,646 | 269,817 | 78,141 |
| | 1,016 | 831,507 | 3,675,261 | 21.9 | 1,056,712 | 178,871 | 22,844 | 183,763 | 248,796 | 112,747 |
| | 1,017 | 1,690,059 | 7,470,061 | 48.6 | 994,323 | 145,556 | 49,466 | 373,503 | 365,814 | 104,014 |
| | 1,018 | 943,380 | 4,169,740 | 27.4 | 681,849 | 89,371 | 29,346 | 208,487 | 301,254 | 70,374 |
| | 1,021 | 911,157 | 4,027,314 | 17.1 | 371,552 | 58,461 | 22,906 | 201,366 | 206,302 | 39,239 |
| | 1,102 | 869,105 | 3,841,444 | 23.0 | 337,983 | 55,447 | 29,658 | 192,072 | 274,203 | 35,900 |
| | 1,026 | 934,964 | 4,182,541 | 19.8 | 646,830 | 179,125 | 25,203 | 206,627 | 366,555 | 75,355 |
| | 1,030 | 883,537 | 3,684,234 | 19.9 | 377,532 | 81,625 | 21,004 | 184,212 | 259,185 | 41,898 |
| | 1,032 | 640,208 | 2,829,719 | 20.1 | 284,096 | 48,398 | 22,764 | 141,486 | 228,450 | 30,340 |
| | 1,072 | 940,807 | 4,158,367 | 23.5 | 535,584 | 83,302 | 29,046 | 207,918 | 439,613 | 56,473 |
| | 1,035 | 685,750 | 3,031,015 | 14.9 | 379,944 | 145,728 | 20,358 | 151,551 | 299,303 | 47,968 |
| | 1,036 | 951,965 | 4,207,685 | 20.8 | 666,370 | 69,585 | 76,051 | 210,384 | 256,041 | 67,156 |
| | 1,038 | 865,259 | 3,824,445 | 18.3 | 866,771 | 192,267 | 25,997 | 191,222 | 363,161 | 96,634 |
| | 1,076 | 705,731 | 3,119,331 | 12.3 | 726,978 | 139,120 | 15,292 | 155,967 | 241,952 | 79,031 |
| | 1,045 | 748,212 | 3,307,097 | 16.8 | 969,822 | 134,539 | 22,435 | 165,355 | 340,709 | 100,773 |
| | 1,049 | 1,459,726 | 6,451,989 | 24.5 | 1,195,520 | 338,175 | 31,954 | 322,599 | 389,532 | 139,950 |
| | 1,054 | 985,383 | 4,355,393 | 24.7 | 611,455 | 171,444 | 35,690 | 217,770 | 364,842 | 71,440 |
| | 1,079 | 1,469,876 | 6,496,852 | 28.3 | 920,792 | 127,622 | 36,600 | 324,843 | 377,030 | 95,668 |
| | 1,061 | 1,057,025 | 4,672,051 | 23.5 | 670,980 | 260,705 | 30,070 | 233,603 | 386,428 | 85,016 |
| | 1,098 | 1,234,605 | 5,456,954 | 22.2 | 642,899 | 182,942 | 30,842 | 272,848 | 378,503 | 75,358 |
| | 1,063 | 747,744 | 3,305,028 | 25.3 | 456,799 | 237,030 | 40,998 | 165,251 | 380,182 | 63,312 |
| | 1,082 | 2,269,768 | 10,032,375 | 71.5 | 1,836,012 | 798,209 | 71,100 | 501,619 | 908,615 | 240,373 |
| | 2,001 | 264,910 | 1,170,902 | 64.0 | 1,241,287 | 547,522 | 24,875 | 58,545 | 307,345 | 163,229 |
| | 2,017 | 573,953 | 2,536,872 | 87.5 | 736,779 | 255,608 | 47,210 | 126,844 | 208,664 | 90,555 |
| 八 一 | 2,020 | 577,865 | 2,554,063 | 203.0 | 746,470 | 189,854 | 51,835 | 127,703 | 238,056 | 85,440 |
| | 2,009 | 741,715 | 3,278,380 | 52.7 | 561,769 | 230,127 | 80,800 | 163,919 | 433,283 | 72,261 |
| | 2,023 | 754,191 | 3,333,524 | 42.9 | 506,255 | 213,841 | 36,022 | 166,676 | 300,243 | 65,709 |
| | 2,011 | 335,840 | 1,484,413 | 19.7 | 452,420 | 86,042 | 15,114 | 74,221 | 206,659 | 49,135 |
| | 3,001 | 404,182 | 1,786,484 | 16.7 | 539,290 | 174,548 | 13,220 | 89,324 | 258,423 | 65,138 |
| | 3,005 | 877,802 | 3,879,885 | 24.3 | 1,216,276 | 144,279 | 30,597 | 198,994 | 325,171 | 124,151 |
| | 3,003 | 345,610 | 1,527,596 | 11.5 | 1,289,265 | 41,250 | 10,103 | 76,380 | 201,988 | 121,409 |
| | 3,004 | 405,806 | 1,793,663 | 18.0 | 899,041 | 157,975 | 13,567 | 89,683 | 204,198 | 96,453 |
| | 4,001 | 319,286 | 1,411,244 | 71.0 | 2,386,999 | 441,214 | 98,552 | 70,562 | 393,105 | 258,074 |
| | 4,002 | 442,489 | 1,955,801 | 115.3 | 3,434,498 | 460,454 | 118,185 | 97,790 | 486,344 | 355,414 |

附表 I の 1 昭和33年度調査事例（つづき）

| 事例番号 | 土地(耕地、農用宅地、採草地、牧場) | | | 物財資本 | | 地代 | | 労働費 | 物財資本利子 |
|--------|--------------------|-----------|--------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 法定評価額 | 試算評価額 | うち耕地面積 | 固定資本 | 流動資本 | 法定地代 | 試算地代 | | |
| 4,004 | 649,964 | 2,872,841 | 201.4 | 2,395,380 | 546,411 | 106,779 | 143,642 | 609,310 | 268,438 |
| 4,007 | 546,735 | 2,416,569 | 24.0 | 1,897,987 | 304,228 | 20,535 | 120,828 | 534,908 | 200,952 |
| 4,008 | 513,574 | 2,269,997 | 23.0 | 1,804,129 | 261,981 | 21,095 | 113,500 | 427,285 | 188,533 |
| 4,010 | 541,876 | 2,395,092 | 23.0 | 1,706,619 | 778,587 | 22,742 | 119,755 | 540,648 | 226,775 |
| 4,012 | 591,764 | 2,615,597 | 12.9 | 1,002,914 | 234,498 | 13,703 | 130,780 | 202,038 | 112,914 |
| -4,029 | 1,124,938 | 4,972,226 | 27.6 | 929,933 | 192,463 | 28,913 | 248,611 | 396,211 | 102,419 |
| -4,022 | 506,925 | 2,240,608 | 11.1 | 1,170,735 | 320,336 | 17,407 | 112,030 | 543,890 | 136,060 |
| 5,027 | 595,492 | 2,632,075 | 29.0 | 976,575 | 191,828 | 28,902 | 131,604 | 275,741 | 106,617 |
| -5,038 | 355,681 | 1,572,110 | 16.8 | 1,637,494 | 151,115 | 13,806 | 78,606 | 273,724 | 163,211 |
| -5,035 | 367,926 | 1,626,233 | 15.1 | 1,600,426 | 459,114 | 11,625 | 81,312 | 320,903 | 187,933 |
| -5,007 | 246,782 | 1,090,776 | 10.3 | 1,426,453 | 106,124 | 8,722 | 54,539 | 164,396 | 139,843 |
| 5,022 | 300,880 | 1,329,890 | 14.9 | 1,162,328 | 212,845 | 10,215 | 66,495 | 508,217 | 125,485 |
| -5,013 | 456,075 | 2,015,852 | 10.6 | 1,388,002 | 212,213 | 8,335 | 100,793 | 264,158 | 146,020 |
| -5,016 | 216,586 | 957,310 | 7.2 | 988,323 | 142,528 | 13,173 | 47,866 | 195,512 | 103,190 |
| -5,023 | 724,883 | 3,203,983 | 15.6 | 1,549,797 | 138,203 | 13,327 | 160,199 | 235,370 | 154,030 |
| -5,024 | 542,744 | 2,398,928 | 23.0 | 3,382,003 | 580,854 | 12,318 | 119,946 | 450,261 | 361,611 |
| 5,014 | 497,968 | 2,201,019 | 12.3 | 1,976,654 | 231,104 | 9,114 | 110,051 | 436,766 | 201,458 |
| -5,042 | 549,333 | 2,428,052 | 25.0 | 4,582,444 | 260,193 | 23,334 | 121,403 | 378,389 | 440,991 |
| -5,018 | 366,580 | 1,620,284 | 22.5 | 1,379,514 | 339,850 | 18,162 | 81,014 | 437,833 | 156,892 |
| -5,034 | 345,594 | 1,527,525 | 21.4 | 2,031,239 | 220,439 | 14,587 | 76,376 | 288,070 | 205,466 |
| -5,043 | 1,079,414 | 4,771,010 | 29.2 | 5,040,223 | 294,756 | 29,807 | 238,551 | 328,927 | 486,817 |
| 6,001 | 395,132 | 1,746,483 | 14.0 | 336,147 | 188,695 | 7,890 | 87,324 | 394,992 | 47,892 |
| 6,022 | 357,955 | 1,582,161 | 31.1 | 888,412 | 324,727 | 8,670 | 79,108 | 371,690 | 110,699 |
| 6,003 | 787,776 | 3,481,970 | 19.5 | 432,606 | 241,966 | 24,362 | 174,099 | 213,764 | 61,555 |
| 6,016 | 638,412 | 2,821,781 | 20.3 | 966,839 | 177,666 | 22,437 | 141,089 | 605,926 | 104,436 |
| 6,009 | 516,900 | 2,284,698 | 9.1 | 182,238 | 44,646 | 8,190 | 114,235 | 131,360 | 20,703 |
| 6,019 | 383,517 | 1,695,145 | 11.5 | 743,037 | 204,686 | 27,848 | 84,757 | 237,105 | 86,480 |
| 7,001 | 845,145 | 3,735,541 | 23.3 | 966,458 | 195,953 | 22,403 | 186,777 | 278,100 | 106,070 |
| 8,003 | 1,227,513 | 5,425,607 | 53.8 | 1,295,624 | 163,827 | 48,149 | 271,280 | 522,377 | 183,175 |
| 8,008 | 1,338,600 | 5,916,612 | 33.0 | 515,149 | 271,462 | 36,813 | 295,831 | 467,100 | 71,778 |
| 8,020 | 284,710 | 1,258,418 | 18.0 | 1,037,404 | 170,424 | 21,740 | 62,921 | 444,507 | 110,214 |
| 8,513 | 343,154 | 1,516,741 | 15.9 | 650,076 | 121,148 | 13,479 | 75,837 | 218,328 | 70,374 |
| 8,509 | 518,265 | 2,290,731 | 17.6 | 340,649 | 60,627 | 10,794 | 114,537 | 137,329 | 36,616 |
| 8,803 | 1,048,549 | 4,634,586 | 59.8 | 1,464,279 | 123,965 | 53,114 | 231,729 | 396,216 | 144,927 |
| 8,816 | 358,688 | 1,585,401 | 13.6 | 419,207 | 66,184 | 14,795 | 79,270 | 331,218 | 44,292 |
| 9,206 | 479,828 | 2,120,621 | 14.1 | 460,054 | 102,822 | 17,480 | 106,031 | 313,887 | 51,317 |
| 9,201 | 457,920 | 2,024,006 | 26.4 | 900,113 | 92,112 | 29,539 | 101,200 | 295,423 | 90,541 |
| 9,219 | 816,073 | 3,587,043 | 59.5 | 1,283,937 | 200,158 | 33,454 | 179,352 | 527,032 | 145,424 |
| 9,231 | 439,810 | 1,943,960 | 12.3 | 852,572 | 118,197 | 10,326 | 97,198 | 416,645 | 88,583 |
| 9,222 | 513,785 | 2,270,930 | 26.2 | 1,074,373 | 256,234 | 19,478 | 113,547 | 281,285 | 121,418 |

附表 I の 2 昭和35年度調査事例

| 事例番号 | 土地(耕地、農用宅地、 採草地、牧場) | | | 物財資本 | | 地代 | | 労働費 | 物財資本利子 |
|-------|------------------------|-----------|--------|-----------|-----------|---------|---------|---------|---------|
| | 法定評価額 | 試算評価額 | うち耕地面積 | 固定資本 | 流動資本 | 法定地代 | 試算地代 | | |
| 1,010 | 855,766 | 3,782,486 | 17.8 | 538,967 | 232,167 | 31,708 | 189,124 | 178,143 | 70,366 |
| 1,017 | 1,407,983 | 6,223,285 | 48.6 | 949,396 | 325,883 | 69,952 | 311,164 | 411,384 | 116,369 |
| 1,021 | 911,157 | 4,027,314 | 17.1 | 354,811 | 151,828 | 22,906 | 201,366 | 145,894 | 46,231 |
| 1,022 | 353,371 | 1,561,900 | 12.8 | 612,506 | 188,015 | 16,634 | 78,095 | 207,950 | 73,047 |
| 1,030 | 795,141 | 3,514,523 | 18.7 | 832,527 | 268,401 | 21,264 | 175,726 | 332,823 | 100,449 |
| 1,038 | 912,357 | 4,032,618 | 19.9 | 959,254 | 282,991 | 33,118 | 201,631 | 276,759 | 113,355 |
| 1,096 | 532,216 | 2,352,395 | 12.4 | 800,824 | 554,543 | 17,000 | 117,620 | 547,238 | 123,677 |
| 1,045 | 745,612 | 3,295,605 | 16.8 | 1,296,200 | 234,376 | 25,378 | 164,780 | 248,701 | 139,665 |
| 1,050 | 946,940 | 4,185,475 | 16.1 | 561,205 | 267,237 | 19,848 | 209,274 | 345,809 | 75,595 |
| 1,051 | 783,393 | 3,462,597 | 16.1 | 703,410 | 403,956 | 20,662 | 173,130 | 460,054 | 101,048 |
| 1,097 | 363,725 | 1,607,665 | 6.3 | 923,948 | 298,708 | 10,760 | 80,383 | 267,251 | 113,758 |
| 1,081 | 700,480 | 3,096,122 | 20.7 | 600,671 | 319,586 | 31,200 | 154,806 | 388,421 | 83,969 |
| 1,063 | 1,113,903 | 4,923,451 | 27.0 | 470,584 | 335,377 | 37,950 | 246,173 | 353,991 | 73,544 |
| 2,001 | 264,910 | 1,170,902 | 64.0 | 1,760,630 | 1,067,895 | 24,875 | 58,545 | 360,699 | 258,044 |
| 2,017 | 816,650 | 3,609,593 | 96.7 | 545,957 | 348,874 | 51,855 | 180,480 | 184,566 | 81,653 |
| 2,009 | 537,984 | 2,377,889 | 37.8 | 1,164,642 | 628,555 | 80,800 | 118,894 | 516,352 | 163,629 |
| 3,003 | 345,610 | 1,527,596 | 11.5 | 1,106,603 | 227,671 | 10,103 | 76,380 | 279,716 | 121,752 |
| 4,002 | 442,439 | 1,955,801 | 115.3 | 3,140,196 | 770,561 | 118,185 | 97,790 | 627,821 | 356,857 |
| 4,004 | 1,049,964 | 4,640,841 | 251.4 | 2,883,819 | 906,845 | 106,779 | 232,042 | 425,328 | 345,898 |
| 4,031 | 690,570 | 3,052,319 | 32.8 | 1,759,226 | 549,519 | 30,549 | 152,616 | 561,868 | 213,744 |
| 4,008 | 1,016,420 | 4,492,576 | 25.3 | 1,972,838 | 539,918 | 27,820 | 224,629 | 385,220 | 229,289 |
| 4,009 | 261,949 | 1,157,815 | 13.5 | 1,983,086 | 580,761 | 9,286 | 57,891 | 268,327 | 233,951 |
| 4,029 | 722,993 | 3,195,629 | 21.0 | 868,799 | 450,558 | 28,881 | 159,781 | 452,081 | 120,391 |
| 4,013 | 450,974 | 1,993,305 | 17.6 | 1,197,159 | 575,520 | 29,461 | 99,665 | 477,852 | 161,757 |
| 5,007 | 230,434 | 1,018,518 | 9.3 | 1,181,284 | 185,048 | 8,710 | 50,926 | 159,187 | 124,678 |
| 5,012 | 467,557 | 2,066,602 | 13.0 | 656,530 | 278,317 | 9,550 | 103,330 | 369,849 | 74,433 |
| 5,013 | 456,075 | 2,015,852 | 10.6 | 1,248,101 | 244,154 | 9,242 | 100,793 | 314,196 | 136,168 |
| 5,014 | 690,053 | 3,050,034 | 13.1 | 1,805,758 | 494,973 | 9,311 | 152,502 | 426,833 | 209,942 |
| 6,014 | 222,780 | 984,688 | 11.5 | 291,790 | 302,474 | 7,343 | 49,234 | 228,021 | 53,725 |
| 6,003 | 871,922 | 3,853,895 | 22.9 | 623,479 | 420,461 | 26,518 | 192,695 | 285,485 | 95,259 |
| 6,011 | 166,462 | 735,762 | 4.6 | 341,210 | 140,670 | 7,867 | 36,788 | 116,462 | 43,971 |
| 8,057 | 467,543 | 2,066,540 | 18.4 | 1,005,180 | 335,128 | 21,221 | 103,327 | 310,118 | 127,383 |
| 8,007 | 840,244 | 3,713,878 | 28.1 | 283,189 | 301,977 | 39,645 | 185,694 | 324,461 | 53,396 |
| 8,044 | 854,316 | 3,776,077 | 25.8 | 1,332,480 | 437,491 | 33,473 | 188,804 | 456,451 | 161,510 |
| 8,050 | 388,190 | 1,715,800 | 11.1 | 629,904 | 338,554 | 16,811 | 85,790 | 212,417 | 88,373 |
| 8,020 | 200,092 | 884,406 | 14.3 | 1,025,580 | 373,359 | 20,864 | 44,220 | 290,704 | 127,653 |
| 8,026 | 425,889 | 1,882,429 | 17.0 | 919,351 | 246,509 | 16,493 | 94,121 | 244,308 | 106,384 |
| 8,518 | 841,708 | 3,720,349 | 38.9 | 833,201 | 636,494 | 37,513 | 186,017 | 270,166 | 105,070 |
| 8,801 | 352,538 | 1,558,218 | 64.8 | 933,874 | 577,539 | 61,271 | 77,911 | 535,665 | 137,916 |
| 8,803 | 1,048,549 | 4,634,587 | 59.8 | 1,744,932 | 394,189 | 53,309 | 231,729 | 428,249 | 195,195 |
| 8,804 | 437,059 | 1,931,801 | 35.8 | 969,585 | 296,807 | 41,761 | 96,590 | 237,210 | 115,558 |
| 8,823 | 610,257 | 2,697,336 | 23.3 | 665,168 | 261,265 | 21,561 | 134,867 | 268,100 | 84,537 |
| 8,816 | 283,203 | 1,251,757 | 12.6 | 395,344 | 288,517 | 13,541 | 62,588 | 393,535 | 62,643 |
| 9,206 | 450,290 | 1,990,282 | 13.6 | 352,212 | 268,218 | 18,380 | 99,514 | 358,677 | 56,614 |
| 9,222 | 674,657 | 2,981,984 | 33.0 | 1,996,197 | 608,927 | 19,868 | 149,099 | 553,462 | 237,718 |

注 1. 事例番号 1,000代 田作形態、2,000代 烟作形態、3,000代 養蚕形態、4,000代 主畜形態、5,000代 果樹作形態、6,000代 蔬菜作形態、7,000代 茶作形態、8,000代、9,000代 複合形態。

2. 昭和33年度および35年度『農業経営調査報告』(農林省統計調査部)により。

3. 試算土地評価額は、法定評価額の 4.42 倍 (本文61頁参照)

附表 II の 1 昭和33年度調査事例

| 事例番号 | 農業所 得 | 純生産額 | 農企業タイプ別収益率 | | | | | |
|-------|-----------|-----------|------------|-----------|---------|---------|---------|----------|
| | | | A_1/K_1 | A_2/K_1 | I/B_1 | I/B_2 | I/C_1 | I'/C_2 |
| 1,001 | 1,215,634 | 1,352,760 | 1.00 | 0.92 | 0.41 | 0.16 | 0.81 | 0.29 |
| 1,084 | 920,137 | 1,285,988 | 1.33 | 1.22 | 0.62 | 0.23 | 0.97 | 0.34 |
| 1,086 | 551,620 | 600,949 | 0.43 | 0.37 | 0.19 | 0.09 | 0.30 | 0.14 |
| 1,088 | 1,025,191 | 1,254,964 | 0.77 | 0.59 | 0.32 | 0.11 | 0.41 | 0.14 |
| 1,010 | 483,715 | 513,195 | 0.73 | 0.58 | 0.30 | 0.11 | 0.43 | 0.15 |
| 1,069 | 1,039,032 | 1,177,604 | 0.84 | 0.65 | 0.35 | 0.12 | 0.44 | 0.15 |
| 1,015 | 416,765 | 446,775 | 0.43 | 0.26 | 0.10 | 0.04 | 0.23 | 0.08 |
| 1,016 | 430,690 | 534,748 | 0.38 | 0.26 | 0.14 | 0.06 | 0.22 | 0.09 |
| 1,017 | 1,272,561 | 1,304,739 | 0.95 | 0.70 | 0.33 | 0.11 | 0.45 | 0.14 |
| 1,018 | 625,369 | 626,519 | 0.65 | 0.45 | 0.19 | 0.07 | 0.34 | 0.11 |
| 1,021 | 538,554 | 543,302 | 0.98 | 0.64 | 0.25 | 0.08 | 0.39 | 0.11 |
| 1,102 | 733,180 | 743,395 | 1.35 | 1.04 | 0.37 | 0.11 | 0.59 | 0.17 |
| 1,026 | 313,143 | 322,935 | 0.29 | 0.12 | -0.02 | -0.01 | 0.16 | 0.05 |
| 1,030 | 372,588 | 437,372 | 0.71 | 0.43 | 0.14 | 0.04 | 0.33 | 0.10 |
| 1,032 | 419,109 | 423,619 | 0.90 | 0.63 | 0.20 | 0.06 | 0.43 | 0.13 |
| 1,072 | 710,906 | 729,332 | 0.83 | 0.62 | 0.19 | 0.06 | 0.46 | 0.14 |
| 1,035 | 474,422 | 477,422 | 0.68 | 0.48 | 0.15 | 0.05 | 0.40 | 0.13 |
| 1,036 | 580,418 | 613,948 | 0.62 | 0.47 | 0.21 | 0.07 | 0.34 | 0.11 |
| 1,038 | 661,990 | 681,664 | 0.53 | 0.40 | 0.17 | 0.07 | 0.34 | 0.12 |
| 1,076 | 476,668 | 498,920 | 0.49 | 0.35 | 0.16 | 0.06 | 0.29 | 0.11 |
| 1,045 | 355,127 | 386,659 | 0.29 | 0.17 | 0.02 | 0.01 | 0.17 | 0.07 |
| 1,049 | 1,016,786 | 1,078,137 | 0.61 | 0.44 | 0.23 | 0.09 | 0.35 | 0.12 |
| 1,054 | 813,911 | 857,412 | 0.85 | 0.66 | 0.28 | 0.10 | 0.49 | 0.16 |
| 1,079 | 486,287 | 505,161 | 0.38 | 0.15 | 0.05 | 0.02 | 0.17 | 0.06 |
| 1,061 | 872,040 | 925,215 | 0.80 | 0.61 | 0.27 | 0.09 | 0.49 | 0.16 |
| 1,098 | 615,365 | 780,232 | 0.74 | 0.50 | 0.19 | 0.06 | 0.38 | 0.12 |
| 1,063 | 793,246 | 873,507 | 0.94 | 0.80 | 0.34 | 0.12 | 0.67 | 0.22 |
| 1,082 | 1,650,671 | 1,963,346 | 0.61 | 0.47 | 0.22 | 0.08 | 0.42 | 0.15 |
| 2,001 | 513,922 | 557,270 | 0.27 | 0.26 | 0.12 | 0.08 | 0.26 | 0.16 |
| 2,017 | 478,765 | 575,443 | 0.48 | 0.41 | 0.23 | 0.11 | 0.37 | 0.15 |
| 2,020 | 529,000 | 589,236 | 0.51 | 0.44 | 0.23 | 0.10 | 0.38 | 0.15 |
| 2,009 | 569,529 | 585,879 | 0.50 | 0.42 | 0.10 | 0.04 | 0.39 | 0.13 |
| 2,023 | 806,770 | 880,545 | 0.97 | 0.82 | 0.39 | 0.14 | 0.65 | 0.21 |
| 2,011 | 267,929 | 291,428 | 0.43 | 0.34 | 0.10 | 0.04 | 0.31 | 0.13 |
| 3,001 | 439,617 | 477,444 | 0.55 | 0.46 | 0.20 | 0.09 | 0.44 | 0.18 |
| 3,005 | 390,342 | 436,704 | 0.27 | 0.16 | 0.05 | 0.02 | 0.15 | 0.06 |
| 3,003 | 378,888 | 427,490 | 0.29 | 0.25 | 0.13 | 0.08 | 0.19 | 0.11 |
| 3,004 | 153,838 | 187,462 | 0.15 | 0.08 | -0.01 | -0.01 | 0.07 | 0.03 |
| 4,001 | 723,304 | 762,751 | 0.22 | 0.23 | 0.12 | 0.09 | 0.19 | 0.13 |
| 4,002 | 464,255 | 576,377 | 0.11 | 0.12 | 0.02 | 0.02 | 0.06 | 0.04 |

附表 IIの1 昭和33年度調査事例（つづき）

| 農業 所得の 企業的 分析 | 事例 番号 | 農業 所 得 | 純 生 産 額 | 農 企 業 タ イ プ 别 収 益 率 | | | | | |
|------------------------|-----------|-----------|------------|--------------------------------|--------------------------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|
| | | | | A ₁ /K ₁ | A ₂ /K ₁ | I/B ₁ | I/B ₂ | I'/C ₁ | I'/C ₂ |
| 4,004 | 809,922 | 901,751 | 0.24 | 0.23 | 0.06 | 0.05 | 0.21 | 0.12 | |
| 4,007 | 455,012 | 462,146 | 0.18 | 0.14 | 0.03 | 0.02 | 0.11 | 0.06 | |
| 4,008 | 586,246 | 672,266 | 0.29 | 0.25 | 0.09 | 0.06 | 0.21 | 0.12 | |
| 4,010 | 1,019,932 | 1,021,078 | 0.36 | 0.33 | 0.15 | 0.10 | 0.35 | 0.19 | |
| 4,012 | 391,215 | 400,433 | 0.29 | 0.20 | 0.11 | 0.05 | 0.18 | 0.08 | |
| 4,029 | 720,720 | 727,062 | 0.53 | 0.36 | 0.15 | 0.05 | 0.30 | 0.11 | |
| 4,022 | 444,326 | 445,384 | 0.24 | 0.18 | 0.05 | 0.03 | 0.18 | 0.09 | |
| 5,027 | 640,805 | 728,973 | 0.54 | 0.46 | 0.26 | 0.12 | 0.40 | 0.17 | |
| 5,038 | 470,045 | 491,666 | 0.25 | 0.21 | 0.10 | 0.06 | 0.16 | 0.10 | |
| 5,035 | 494,798 | 669,453 | 0.30 | 0.26 | 0.14 | 0.09 | 0.24 | 0.15 | |
| 5,007 | 352,342 | 387,301 | 0.23 | 0.21 | 0.13 | 0.08 | 0.15 | 0.10 | |
| 5,022 | 469,274 | 494,094 | 0.30 | 0.26 | -0.01 | -0.01 | 0.25 | 0.15 | |
| 5,013 | 702,061 | 744,437 | 0.42 | 0.36 | 0.23 | 0.13 | 0.32 | 0.18 | |
| 5,016 | 311,165 | 344,493 | 0.27 | 0.24 | 0.11 | 0.07 | 0.20 | 0.12 | |
| 5,023 | 265,648 | 288,374 | 0.15 | 0.07 | 0.02 | 0.01 | 0.06 | 0.03 | |
| 5,024 | 1,442,649 | 1,722,614 | 0.41 | 0.38 | 0.28 | 0.20 | 0.35 | 0.24 | |
| 5,014 | 1,276,639 | 1,317,162 | 0.54 | 0.50 | 0.33 | 0.20 | 0.45 | 0.27 | |
| 5,042 | 1,287,954 | 1,593,180 | 0.31 | 0.29 | 0.23 | 0.17 | 0.22 | 0.16 | |
| 5,018 | 508,843 | 1,239,731 | 0.63 | 0.60 | 0.38 | 0.24 | 0.62 | 0.36 | |
| 5,034 | 482,638 | 521,728 | 0.21 | 0.19 | 0.09 | 0.06 | 0.13 | 0.09 | |
| 5,043 | 728,130 | 885,159 | 0.16 | 0.12 | 0.09 | 0.06 | 0.07 | 0.04 | |
| 6,001 | 875,500 | 1,006,903 | 1.38 | 1.27 | 0.67 | 0.27 | 1.31 | 0.46 | |
| 6,022 | 798,626 | 874,322 | 0.62 | 0.57 | 0.32 | 0.18 | 0.61 | 0.31 | |
| 6,003 | 197,503 | 301,001 | 0.35 | 0.16 | 0.60 | 0.21 | 0.20 | 0.06 | |
| 6,016 | 730,297 | 731,361 | 0.49 | 0.41 | 0.07 | 0.03 | 0.39 | 0.17 | |
| 6,009 | 375,243 | 375,243 | 1.25 | 0.90 | 0.33 | 0.10 | 0.51 | 0.14 | |
| 6,019 | 330,174 | 351,599 | 0.30 | 0.25 | 0.09 | 0.04 | 0.24 | 0.11 | |
| 7,001 | 425,131 | 462,773 | 0.34 | 0.21 | 0.09 | 0.04 | 0.20 | 0.08 | |
| 8,003 | 1,153,542 | 1,297,942 | 0.73 | 0.60 | 0.29 | 0.11 | 0.46 | 0.17 | |
| 8,008 | 938,261 | 973,959 | 0.92 | 0.66 | 0.24 | 0.08 | 0.49 | 0.14 | |
| 8,020 | 456,465 | 460,462 | 0.31 | 0.28 | 0.01 | 0.01 | 0.26 | 0.15 | |
| 8,513 | 286,155 | 311,088 | 0.34 | 0.26 | 0.08 | 0.04 | 0.24 | 0.12 | |
| 8,509 | 258,642 | 267,290 | 0.55 | 0.33 | 0.14 | 0.05 | 0.27 | 0.09 | |
| 8,803 | 852,254 | 907,722 | 0.48 | 0.38 | 0.19 | 0.08 | 0.30 | 0.12 | |
| 8,816 | 395,669 | 404,572 | 0.60 | 0.50 | 0.09 | 0.04 | 0.46 | 0.18 | |
| 9,206 | 224,430 | 234,788 | 0.30 | 0.18 | -0.08 | -0.03 | 0.20 | 0.07 | |
| 9,201 | 814,253 | 853,443 | 0.72 | 0.66 | 0.38 | 0.19 | 0.56 | 0.26 | |
| 9,219 | 177,483 | 191,313 | 0.09 | 0.01 | -0.15 | -0.07 | 0.02 | 0.01 | |
| 9,231 | 362,758 | 369,528 | 0.30 | 0.23 | -0.03 | -0.02 | 0.22 | 0.10 | |
| 9,222 | 395,349 | 412,543 | 0.27 | 0.20 | 0.07 | 0.04 | 0.18 | 0.09 | |

附表 IIの2 昭和35年度調査事例

| 事例番号 | 農業所 | 業得産額 | 純生額 | 農企業タイプ別収益率 | | | | | |
|-------|-----------|-----------|---------|------------|-----------|---------|---------|----------|----------|
| | | | | A_1/K_1 | A_2/K_1 | I/B_1 | I/B_2 | I'/C_1 | I'/C_2 |
| 1,010 | | 503,415 | 488,968 | 0.59 | 0.39 | 0.19 | 0.07 | 0.30 | 0.10 |
| 1,017 | 1,257,519 | 1,283,559 | 0.95 | 0.76 | 0.33 | 0.12 | 0.50 | 0.16 | |
| 1,021 | 577,431 | 554,917 | 1.05 | 0.70 | 0.29 | 0.09 | 0.40 | 0.12 | |
| 1,022 | 392,089 | 402,711 | 0.48 | 0.41 | 0.17 | 0.08 | 0.34 | 0.15 | |
| 1,030 | 352,149 | 391,624 | 0.34 | 0.20 | 0.03 | 0.01 | 0.18 | 0.07 | |
| 1,038 | 817,288 | 796,361 | 0.61 | 0.48 | 0.24 | 0.10 | 0.36 | 0.14 | |
| 1,096 | 730,672 | 729,255 | 0.53 | 0.45 | 0.10 | 0.05 | 0.45 | 0.19 | |
| 1,045 | 484,910 | 473,436 | 0.29 | 0.20 | 0.10 | 0.05 | 0.16 | 0.07 | |
| 1,050 | 620,857 | 634,625 | 0.74 | 0.51 | 0.16 | 0.06 | 0.37 | 0.12 | |
| 1,051 | 537,676 | 471,665 | 0.41 | 0.27 | 0.01 | 0.00 | 0.25 | 0.09 | |
| 1,097 | 398,208 | 384,345 | 0.31 | 0.25 | 0.07 | 0.04 | 0.21 | 0.11 | |
| 1,081 | 745,524 | 762,717 | 0.79 | 0.63 | 0.23 | 0.09 | 0.52 | 0.18 | |
| 1,063 | 948,111 | 970,378 | 1.16 | 0.85 | 0.32 | 0.11 | 0.57 | 0.17 | |
| 2,001 | 400,539 | 443,928 | 0.15 | 0.14 | 0.03 | 0.02 | 0.09 | 0.06 | |
| 2,017 | 300,840 | 346,678 | 0.33 | 0.19 | 0.09 | 0.04 | 0.19 | 0.06 | |
| 2,009 | 979,848 | 1,032,277 | 0.53 | 0.51 | 0.22 | 0.12 | 0.51 | 0.25 | |
| 3,003 | 583,155 | 599,088 | 0.44 | 0.39 | 0.19 | 0.11 | 0.33 | 0.18 | |
| 4,002 | 516,704 | 647,724 | 0.14 | 0.14 | 0.00 | 0.00 | 0.08 | 0.06 | |
| 4,004 | 546,992 | 580,948 | 0.13 | 0.09 | 0.03 | 0.02 | 0.06 | 0.03 | |
| 4,031 | 719,631 | 689,861 | 0.29 | 0.23 | 0.04 | 0.02 | 0.19 | 0.10 | |
| 4,008 | 776,673 | 817,266 | 0.31 | 0.24 | 0.12 | 0.06 | 0.20 | 0.09 | |
| 4,009 | 531,187 | 500,327 | 0.19 | 0.17 | 0.08 | 0.06 | 0.12 | 0.08 | |
| 4,029 | 896,515 | 876,763 | 0.64 | 0.54 | 0.21 | 0.09 | 0.48 | 0.19 | |
| 4,013 | 634,772 | 555,756 | 0.30 | 0.26 | 0.04 | 0.02 | 0.24 | 0.12 | |
| 5,007 | 332,665 | 352,399 | 0.25 | 0.22 | 0.12 | 0.08 | 0.16 | 0.10 | |
| 5,012 | 229,700 | 230,690 | 0.23 | 0.14 | -0.10 | -0.05 | 0.14 | 0.06 | |
| 5,013 | 720,623 | 759,785 | 0.50 | 0.44 | 0.23 | 0.13 | 0.37 | 0.19 | |
| 5,014 | 1,243,493 | 1,290,239 | 0.56 | 0.49 | 0.29 | 0.16 | 0.43 | 0.22 | |
| 6,014 | 857,289 | 866,908 | 1.45 | 1.38 | 0.78 | 0.40 | 1.58 | 0.64 | |
| 6,003 | 331,451 | 389,469 | 0.35 | 0.19 | 0.05 | 0.02 | 0.20 | 0.07 | |
| 6,011 | 291,436 | 294,208 | 0.59 | 0.53 | 0.27 | 0.15 | 0.49 | 0.23 | |
| 8,057 | 506,692 | 492,230 | 0.35 | 0.29 | 0.10 | 0.05 | 0.25 | 0.12 | |
| 8,007 | 756,998 | 705,912 | 1.14 | 0.89 | 0.27 | 0.09 | 0.58 | 0.16 | |
| 8,044 | 619,116 | 607,185 | 0.32 | 0.24 | 0.06 | 0.03 | 0.20 | 0.09 | |
| 8,050 | 383,451 | 381,500 | 0.38 | 0.31 | 0.12 | 0.06 | 0.29 | 0.12 | |
| 8,020 | 503,405 | 461,275 | 0.31 | 0.30 | 0.11 | 0.07 | 0.27 | 0.17 | |
| 8,026 | 53,474 | 53,773 | 0.03 | -0.03 | -0.12 | -0.06 | -0.04 | -0.02 | |
| 8,518 | 405,712 | 528,190 | 0.33 | 0.23 | 0.11 | 0.05 | 0.25 | 0.09 | |
| 8,801 | 1,145,783 | 1,119,657 | 0.70 | 0.69 | 0.31 | 0.19 | 0.76 | 0.39 | |
| 8,803 | 875,537 | 882,426 | 0.39 | 0.30 | 0.14 | 0.07 | 0.25 | 0.11 | |
| 8,804 | 513,907 | 543,398 | 0.40 | 0.35 | 0.18 | 0.10 | 0.30 | 0.15 | |
| 8,823 | 539,348 | 522,514 | 0.54 | 0.42 | 0.17 | 0.07 | 0.34 | 0.13 | |
| 8,816 | 544,639 | 531,707 | 0.76 | 0.69 | 0.14 | 0.07 | 0.69 | 0.28 | |
| 9,206 | 397,718 | 400,346 | 0.62 | 0.48 | 0.04 | 0.02 | 0.43 | 0.15 | |
| 9,222 | 783,992 | 766,839 | 0.29 | 0.24 | 0.06 | 0.04 | 0.20 | 0.11 | |

注 農業企業タイプ別収益率 $A_1/K_1 = (\text{純生産額} - \text{法定地代}) / (\text{物資資本} + \text{労賃資本})$ $A_2/K_1 = (\text{純生産額} - \text{試算地代}) / (\text{物資資本} + \text{労賃資本})$ 労賃資本は労働費の半額 $I/B_1 = (\text{純生産額} - \text{労賃費}) / (\text{物資資本} + \text{法定土地評価額})$, $I/B_2 = (\text{純生産額} - \text{労賃費}) / (\text{物資資本} + \text{試算土地評価額})$ $I'/C_1 = (\text{純生産額} - \text{物資利子}) / (\text{法定土地評価額} + \text{固定資本})$, $I'/C_2 = (\text{純生産額} - \text{物資利子}) / (\text{試算土地評価額} + \text{固定資本})$

附表 IIIの1 昭和33年度調査事例

| 農業所得の企業的分析 | 事例番号 | 農業所得指 数 | 農企業タイプ別純収益指数(√純生産額指數×収益率指數) | | | | | |
|---|-------|---------|-----------------------------------|-----------------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| | | | √純×A ₁ /K ₁ | √純×A ₂ /K ₁ | √純×I/B ₁ | √純×I/B ₂ | √純×I/C ₁ | √純×I/C ₂ |
| 1,001 1,084 1,086 1,088 1,010 | 1,001 | 171 | 155 | 172 | 176 | 187 | 186 | 190 |
| | 1,084 | 130 | 174 | 193 | 210 | 218 | 197 | 199 |
| | 1,086 | 78 | 68 | 73 | 80 | 93 | 75 | 88 |
| | 1,088 | 145 | 131 | 132 | 149 | 149 | 127 | 127 |
| | 1,010 | 68 | 81 | 84 | 92 | 95 | 83 | 84 |
| | 1,069 | 146 | 132 | 134 | 151 | 150 | 127 | 127 |
| | 1,015 | 59 | 59 | 52 | 49 | 53 | 56 | 57 |
| | 1,016 | 61 | 60 | 57 | 65 | 71 | 61 | 66 |
| | 1,017 | 179 | 148 | 147 | 155 | 152 | 136 | 129 |
| | 1,018 | 88 | 85 | 82 | 82 | 84 | 81 | 80 |
| 1,021 1,022 1,026 1,030 1,032 | 1,021 | 76 | 97 | 91 | 87 | 83 | 81 | 74 |
| | 1,022 | 103 | 134 | 135 | 124 | 115 | 117 | 107 |
| | 1,026 | 44 | 40 | 30 | -19 | -23 | 40 | 38 |
| | 1,030 | 53 | 74 | 67 | 58 | 53 | 67 | 63 |
| | 1,032 | 59 | 82 | 80 | 69 | 64 | 75 | 71 |
| 1,072 1,035 1,036 1,038 1,076 | 1,072 | 100 | 103 | 103 | 88 | 84 | 102 | 96 |
| | 1,035 | 67 | 76 | 74 | 63 | 62 | 77 | 75 |
| | 1,036 | 82 | 82 | 82 | 84 | 83 | 80 | 79 |
| | 1,038 | 93 | 80 | 80 | 80 | 87 | 85 | 87 |
| | 1,076 | 67 | 66 | 64 | 67 | 69 | 67 | 71 |
| 1,045 1,049 1,054 1,079 1,061 | 1,045 | 50 | 44 | 39 | 21 | 25 | 45 | 50 |
| | 1,049 | 143 | 108 | 106 | 118 | 125 | 109 | 109 |
| | 1,054 | 115 | 113 | 115 | 115 | 117 | 114 | 112 |
| | 1,079 | 69 | 59 | 43 | 38 | 40 | 52 | 53 |
| | 1,061 | 123 | 114 | 115 | 118 | 116 | 119 | 116 |
| 1,098 1,063 1,082 2,001 2,017 | 1,098 | 87 | 101 | 96 | 91 | 87 | 96 | 93 |
| | 1,063 | 112 | 120 | 128 | 128 | 129 | 135 | 132 |
| | 1,082 | 233 | 146 | 147 | 155 | 158 | 160 | 164 |
| | 2,001 | 72 | 52 | 59 | 61 | 84 | 67 | 90 |
| | 2,017 | 67 | 70 | 75 | 86 | 101 | 81 | 89 |
| 八七 | 2,020 | 75 | 73 | 78 | 87 | 97 | 84 | 90 |
| | 2,009 | 80 | 72 | 77 | 57 | 61 | 85 | 84 |
| | 2,023 | 114 | 123 | 131 | 138 | 140 | 134 | 130 |
| | 2,011 | 38 | 47 | 49 | 40 | 43 | 53 | 59 |
| | 3,001 | 62 | 68 | 72 | 73 | 83 | 81 | 89 |
| 3,005 3,003 3,004 4,001 4,002 | 3,005 | 55 | 46 | 41 | 35 | 38 | 45 | 49 |
| | 3,003 | 53 | 47 | 51 | 56 | 74 | 50 | 66 |
| | 3,004 | 22 | 22 | 19 | -10 | -18 | 20 | 22 |
| | 4,001 | 102 | 55 | 65 | 71 | 105 | 67 | 95 |
| | 4,002 | 65 | 33 | 40 | 26 | 43 | 33 | 46 |

附表 Ⅲの1 昭和33年度調査事例(つづき)

| 事例番号 | 農業所得指 數 | 農企業タイプ別純収益指数(√純生産額指 数×収益率指 数) | | | | | | 農業所得の企 業的分析 |
|-------|------------|-------------------------------------|-----------------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|----------------|
| | | √純×A ₁ /K ₁ | √純×A ₂ /K ₁ | √純×I/B ₁ | √純×I/B ₂ | √純×I/C ₁ | √純×I/C ₂ | |
| 4,004 | 114 | 62 | 70 | 55 | 85 | 77 | 99 | |
| 4,007 | 64 | 38 | 39 | 28 | 38 | 40 | 50 | |
| 4,008 | 83 | 59 | 63 | 58 | 80 | 66 | 86 | |
| 4,010 | 144 | 81 | 89 | 92 | 127 | 105 | 133 | |
| 4,012 | 55 | 45 | 43 | 49 | 57 | 47 | 54 | |
| 4,029 | 102 | 83 | 79 | 78 | 76 | 82 | 86 | |
| 4,022 | 63 | 43 | 43 | 35 | 47 | 50 | 60 | |
| 5,027 | 90 | 84 | 89 | 102 | 118 | 95 | 106 | |
| 5,038 | 66 | 47 | 50 | 52 | 69 | 50 | 67 | |
| 5,035 | 70 | 60 | 64 | 72 | 98 | 71 | 95 | |
| 5,007 | 50 | 40 | 44 | 53 | 70 | 43 | 59 | |
| 5,022 | 66 | 52 | 55 | -16 | -29 | 62 | 82 | |
| 5,013 | 99 | 74 | 80 | 97 | 124 | 86 | 111 | |
| 5,016 | 44 | 41 | 44 | 46 | 62 | 46 | 61 | |
| 5,023 | 37 | 28 | 22 | 18 | 22 | 24 | 28 | |
| 5,024 | 203 | 112 | 124 | 164 | 235 | 137 | 194 | |
| 5,014 | 180 | 112 | 125 | 155 | 205 | 136 | 180 | |
| 5,042 | 182 | 93 | 104 | 143 | 208 | 104 | 152 | |
| 5,018 | 72 | 118 | 42 | 161 | 218 | 155 | 202 | |
| 5,034 | 68 | 44 | 49 | 51 | 71 | 46 | 65 | |
| 5,043 | 103 | 50 | 50 | 67 | 92 | 44 | 57 | |
| 6,001 | 123 | 157 | 174 | 193 | 208 | 202 | 205 | |
| 6,022 | 113 | 98 | 109 | 125 | 159 | 129 | 157 | |
| 6,003 | 28 | 43 | 34 | 100 | 100 | 43 | 41 | |
| 6,016 | 103 | 80 | 84 | 53 | 60 | 94 | 106 | |
| 6,009 | 53 | 92 | 89 | 83 | 77 | 77 | 69 | |
| 6,019 | 47 | 43 | 46 | 42 | 48 | 52 | 60 | |
| 7,001 | 60 | 53 | 48 | 48 | 55 | 54 | 58 | |
| 8,003 | 163 | 129 | 136 | 145 | 151 | 136 | 142 | |
| 8,008 | 132 | 126 | 123 | 113 | 111 | 122 | 111 | |
| 8,020 | 64 | 50 | 55 | 15 | 28 | 61 | 79 | |
| 8,513 | 40 | 43 | 44 | 38 | 45 | 49 | 59 | |
| 8,509 | 36 | 51 | 45 | 45 | 46 | 47 | 47 | |
| 8,803 | 120 | 88 | 90 | 98 | 108 | 92 | 100 | |
| 8,816 | 56 | 66 | 70 | 45 | 51 | 76 | 82 | |
| 9,206 | 32 | 36 | 31 | -33 | -34 | 38 | 39 | |
| 9,201 | 115 | 104 | 115 | 134 | 160 | 122 | 142 | |
| 9,219 | 25 | 18 | 7 | -39 | -46 | 11 | 13 | |
| 9,281 | 51 | 44 | 45 | -25 | -34 | 50 | 58 | |
| 9,222 | 56 | 45 | 44 | 40 | 51 | 48 | 58 | |

附表 IIIの2 昭和35年度調査事例

| 農業所得の企業的分析 事例番号 | 農業所得指 指数 | 農企業タイプ別純収益指數(√純生産額指數×収益率指數) | | | | | |
|--------------------|-------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---------------------|---------------------|----------------------|----------------------|
| | | ✓純×A ₁ /K ₁ | ✓純×A ₂ /K ₁ | ✓純×I/B ₁ | ✓純×I/B ₂ | ✓純×I'/C ₁ | ✓純×I'/C ₂ |
| 1,010 | 83 | 98 | 89 | 98 | 84 | 84 | 71 |
| 1,017 | 207 | 201 | 199 | 208 | 177 | 175 | 144 |
| 1,021 | 95 | 139 | 125 | 128 | 101 | 103 | 82 |
| 1,022 | 65 | 80 | 82 | 84 | 81 | 81 | 79 |
| 1,030 | 58 | 67 | 57 | 35 | 29 | 58 | 53 |
| 1,038 | 135 | 127 | 125 | 140 | 128 | 117 | 107 |
| 1,096 | 120 | 114 | 116 | 87 | 87 | 126 | 119 |
| 1,045 | 80 | 68 | 62 | 70 | 70 | 60 | 58 |
| 1,050 | 102 | 125 | 115 | 102 | 88 | 106 | 88 |
| 1,051 | 89 | 80 | 72 | 22 | 0 | 75 | 66 |
| 1,097 | 66 | 63 | 63 | 53 | 56 | 63 | 66 |
| 1,081 | 123 | 141 | 140 | 133 | 119 | 138 | 119 |
| 1,063 | 156 | 194 | 183 | 178 | 148 | 163 | 130 |
| 2,001 | 66 | 47 | 50 | 37 | 43 | 43 | 52 |
| 2,017 | 50 | 61 | 52 | 56 | 53 | 56 | 46 |
| 2,009 | 162 | 135 | 147 | 152 | 159 | 159 | 162 |
| 3,003 | 96 | 94 | 98 | 108 | 116 | 98 | 105 |
| 4,002 | 85 | 55 | 61 | 0 | 0 | 50 | 64 |
| 4,004 | 90 | 51 | 47 | 43 | 49 | 41 | 43 |
| 4,031 | 119 | 81 | 81 | 53 | 53 | 79 | 84 |
| 4,008 | 128 | 92 | 89 | 100 | 100 | 89 | 86 |
| 4,009 | 88 | 56 | 60 | 64 | 178 | 54 | 64 |
| 4,029 | 148 | 137 | 139 | 137 | 27 | 142 | 130 |
| 4,013 | 105 | 75 | 77 | 48 | 48 | 81 | 83 |
| 5,007 | 55 | 54 | 56 | 65 | 76 | 52 | 60 |
| 5,012 | 38 | 42 | 37 | -49 | -49 | 39 | 38 |
| 5,013 | 119 | 113 | 117 | 134 | 142 | 116 | 122 |
| 5,014 | 205 | 155 | 160 | 195 | 205 | 163 | 170 |
| 6,014 | 141 | 204 | 221 | 262 | 266 | 256 | 233 |
| 6,003 | 55 | 67 | 55 | 44 | 40 | 61 | 53 |
| 6,011 | 48 | 76 | 80 | 90 | 95 | 83 | 83 |
| 8,057 | 84 | 75 | 77 | 71 | 71 | 77 | 78 |
| 8,007 | 125 | 164 | 160 | 139 | 114 | 140 | 107 |
| 8,044 | 102 | 80 | 77 | 61 | 61 | 77 | 75 |
| 8,050 | 63 | 70 | 70 | 68 | 68 | 73 | 68 |
| 8,020 | 83 | 69 | 75 | 72 | 81 | 77 | 89 |
| 8,026 | 9 | 8 | -9 | -26 | -26 | -10 | -11 |
| 8,518 | 67 | 76 | 71 | 77 | 74 | 80 | 70 |
| 8,801 | 189 | 162 | 178 | 188 | 208 | 202 | 211 |
| 8,803 | 144 | 107 | 104 | 113 | 112 | 103 | 100 |
| 8,804 | 85 | 85 | 88 | 100 | 105 | 88 | 89 |
| 8,823 | 89 | 97 | 95 | 95 | 87 | 92 | 83 |
| 8,816 | 90 | 116 | 123 | 88 | 87 | 133 | 124 |
| 9,206 | 66 | 91 | 88 | 41 | 41 | 91 | 78 |
| 9,222 | 129 | 86 | 87 | 69 | 79 | 86 | 93 |

注 指数は、昭和33年度調査事例では田作形態28事例の平均値を100とするもの、昭和35年度調査事例では、全事例45の平均値を100とするもの。